

日本福祉大学学則（案）

第1章 総則

第1節 目的

（目的）

第1条 本学は学校教育法に則り、人間及び社会に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かなる思想感情を培い、社会にとって有為な専門家であり、かつ地域社会に貢献できる人材を養成することを目的とし、広く人類社会の発展に寄与することを使命とする。

（教育の目標）

第2条 本学は、真理の探究と人間の尊厳を基に、21世紀の新しい福祉社会と持続可能な地域社会の構築に貢献する指導的人材を育成する。

2 学部・学科における教育の目標は、別に定める。

第2節 構成

（学部・学科）

第3条 本学に次の学部及び学科を置く。

社会福祉学部

社会福祉学科

経済学部

経済学科

福祉経営学部

医療・福祉マネジメント学科（通信教育）

健康科学部

リハビリテーション学科

福祉工学科

子ども発達学部

子ども発達学科

心理臨床学科

国際福祉開発学部

国際福祉開発学科

看護学部

看護学科
スポーツ科学部
スポーツ科学科

(収容定員)

第4条 本学の収容定員は次のとおり定める。

社会福祉学部

社会福祉学科

入学定員	400名
編入学定員 (3年次)	40名
収容定員	1,680名

経済学部

経済学科

入学定員	200名
収容定員	800名

福祉経営学部

医療・福祉マネジメント学科 (通信教育)

入学定員	800名
編入学定員 (3年次)	400名
収容定員	4,000名

健康科学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

入学定員	40名
収容定員	160名

作業療法学専攻

入学定員	40名
収容定員	160名

介護学専攻

入学定員	40名
収容定員	160名

福祉工学科

入学定員	70名
収容定員	280名

子ども発達学部

子ども発達学科

入学定員	180名
収容定員	720名
心理臨床学科	
入学定員	135名
収容定員	540名
国際福祉開発学部	
国際福祉開発学科	
入学定員	80名
収容定員	320名
看護学部	
看護学科	
入学定員	100名
収容定員	400名
スポーツ科学部	
スポーツ科学科	
入学定員	180名
収容定員	720名

- 2 子ども発達学部子ども発達学科に保育専修と学校教育専修を置く。同専修の定員は、子ども発達学部授業科目履修規程で定める。

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院に関する学則は別に定める。

(付置機関)

第6条 本学に次の付置機関を置く。

- (1) 全学教育センター
- (2) 社会福祉実習教育研究センター
- (3) 教職課程センター
- (4) 学生支援センター
- (5) ボランティアセンター
- (6) 福祉社会開発研究所
- (7) 知多半島総合研究所
- (8) 健康科学研究所
- (9) 心理臨床研究センター
- (10) 看護実践研究センター
- (11) まちづくり研究センター
- (12) 生涯学習センター

- (13) スポーツ科学センター
- 2 各付置機関に関する規則は別に定める。
(付属図書館)

第7条 本学に付属図書館を置く。

- 2 付属図書館に関する規則は別に定める。

第3節 職員組織

(職員)

第8条 本学に次の職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教授・准教授・助教・助手
- (3) 事務職員・技術職員・施設管理職員

(教学役職者)

第8条の2 学長のもと、本学に次の教学役職者を置く。

- (1) 副学長
 - (2) 総合企画室長
 - (3) 教務部、学生部、入試部及び就職部の各部長
 - (4) 総合研究機構長
 - (5) 地域連携推進機構長
 - (6) 社会福祉学部、経済学部、福祉経営学部、健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部、看護学部及びスポーツ科学部の各学部長
 - (7) 全学教育センター長
 - (8) 大学院委員長
 - (9) 付属図書館長
- 2 学長は、必要に応じて、学長補佐のほか、必要な教学役職者を置くことができる。
 - 3 学長が置くその他の教学役職者については別に定める。

第4節 評議会・教授会

(評議会)

第9条 本学に、本学の重要事項を審議するため評議会を置く。

- 2 評議会は次の各号に掲げる評議員をもって組織する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長

- (3) 学長補佐
 - (4) 総合企画室長
 - (5) 教務部、学生部、入試部及び就職部の各部長
 - (6) 総合研究機構長
 - (7) 地域連携推進機構長
 - (8) 社会福祉学部、経済学部、福祉経営学部、健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部、看護学部及びスポーツ科学部の各学部長
 - (9) 全学教育センター長
 - (10) 大学院委員長
 - (11) 福祉社会開発研究科、社会福祉学研究科、医療・福祉マネジメント研究科及び国際社会開発研究科の各研究科長
 - (12) 附属図書館長
 - (13) 社会福祉学部、経済学部、健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部、看護学部及びスポーツ科学部の各教授会構成員から選出された各2名
 - (14) 福祉経営学部の教授会構成員から選出された1名
 - (15) 事務局長
 - (16) 事務局次長
- 3 評議会が審議し、学長が決定する事項は、次の各号に掲げるものとする。
- (1) 学則及びそれに付属する諸規則の制定・改廃に係わる事項
 - (2) 学部・学科その他重要な施設の設置・廃止に関する事項
 - (3) 大学の将来計画に係わる事項
 - (4) 教員人事に関する基本事項（教員採用計画・教員組織に関する基本方針）
 - (5) 研究に関する基本事項
 - (6) 大学院に関する基本事項
 - (7) 附属機関運営の基本方針に関する事項
 - (8) 大学広報・学生募集・就職に関する基本事項
 - (9) 入学試験に関する基本事項
 - (10) 学生指導に関する基本事項
 - (11) 年度毎の事業計画及び教育計画に関する基本事項
 - (12) 附属付置機関長等の選任に関する事項
 - (13) 全学的教育の推進・実施に関する事項
 - (14) 教員の人事制度改革に関する事項
 - (15) 教育・研究等の点検・評価に関する事項
 - (16) その他大学全体に関する重要事項で大学評議会が必要と認める事項
- 4 評議会に関する必要な事項は別に定める。
(教授会)

第10条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授、准教授及び助教をもって組織する。
- 3 教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する事項は、次の各号に掲げるものとする。ただし、全学部の審議を要する事項については、これを除く。
 - (1) 学生の進級・留年又は卒業に関する事項
 - (2) 学生の学籍に関する事項
 - (3) 入学試験に関する事項
 - (4) 学部学生の指導に関する事項
 - (5) 教員人事（学部長の選出、昇格審査、専任教員の任免、非常勤講師の委嘱・派遣等）に関する事項
 - (6) 大学評議員の選出
 - (7) 学部の将来計画に関する事項
 - (8) 学部の諸規程の制定・改廃に関する事項
 - (9) 学部の教育計画に関する事項
 - (10) 学部の研究に関する事項
 - (11) 学部の教育・研究の点検・評価に関する事項
 - (12) 大学評議会が審議し、学長が必要と認める事項
 - (13) その他、学部長及び教授会が必要と認める事項
- 4 教授会に関する必要な事項は別に定める。

第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第11条 学年は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第12条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月15日まで

後学期 9月16日から翌年3月31日まで

- 2 学長が必要と認めた場合は、前項の期間を臨時に変更することができる。

(休業日)

第13条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める日
- (3) 本学創立記念日6月6日
- (4) 春季休業日
- (5) 夏季休業日

- (6) 冬季休業日
- 2 学長が必要と認めた場合は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
 - 3 学長は第1項に定めるもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年数

(修業年数)

第14条 学部の修業年限は4年とする。

(在学年数)

第15条 学生は8年を超えて在学することができない。

第2節 入学

(入学の時期)

第16条 入学の時期は、学年始とする。

(入学資格)

第17条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第18条 入学志願者は、所定の入学願書に第56条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願出しなければならない。

(入学志願者の選考)

第19条 前条の入学志願者の選考は、調査書、学科試験及びその他必要な書類などによって行なう。

(入学許可及び入学手続)

第20条 前条の選考の結果、入学を許可された者は、指定された期日までに、保証人2名連署の在学誓書及び所定の書類を提出し、別に定める学費を納めなければならない。

2 入学を許可された者が前項に定める手続を行なわないときは、入学許可はその効力を失う。

(保証人)

第21条 保証人は、入学生に係る一切の責任を負うことのできる独立生計者2名とし、次の各号の定めるところにより1名を正保証人、他の1名を副保証人とする。

(1) 正保証人は父母又はこれに準ずるものとする。

(2) 副保証人は親族又はこれに準ずるものとする。

2 保証人が死亡、その他の理由により、その責任を負うことのできないときは、新たに保証人を定めなおして在学誓書を提出しなければならない。

(改姓等)

第22条 学生又は保証人が改姓・改名・転籍、転居をしたときは、ただちに証明書類を添えて、その旨を届けなければならない。

(編入学・転入学)

第23条 次の各号の一に該当する者で、本学に編入学又は転入学を願い出たときは、第4条の編入学定員の定めにより、選考のうえ入学を許可する。ただし、編入学定員を定めていない学部学科で、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

(2) 短期大学、高等専門学校、国立養護教諭養成所又は国立工業教員養成所を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者

(4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

(5) 第1号、第2号に相当する外国の大学等を卒業した者

2 本学へ編入学又は転入学を志願する者は第56条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

3 第1項の定めにより入学を許可された者の、すでに履修した授業科目及び単位数

ならびに在学すべき年数の認定は教授会が行なう。

- 4 本条により入学した学生の最長在学年数は、第15条の定めにもかかわらず、前項で定める在学すべき年数の2倍以内とする。
- 5 その他、本学への編入学及び転入学に関する規則については別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第24条 本学の授業科目は、総合基礎科目、専門基礎科目、専門科目及び自由科目で構成される。

- 2 それぞれの科目区分のもとに設置される授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。
- 3 授業科目の履修に関する規則については別に定める。

(メディアを利用して行う授業)

第25条 多様なメディアを高度に利用して行う授業は、パーソナルコンピューターその他双方向の通信手段によって行う。

- 2 前項の授業を実施する授業科目については、授業科目履修規程において定める。

(単位計算方法)

第26条 各授業科目の単位数は、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 1の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して各学部が定める授業時間をもって1単位とする。

(年間授業実施週)

第27条 1年間の授業週は、定期試験等も含め35週を下らないものとする。

(教育課程の編成)

第28条 教育課程は、別表1に定める授業科目を各年次に配当して編成するものとする。

(履修届)

第29条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学年所定の期間内に届出なければならない。

(他大学・他学部等における授業科目の履修)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところによ

り他の大学又は短期大学における履修により修得した授業科目の単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学における履修により修得した授業科目の単位認定に際しても準用する。
- 3 学生が休学中に他大学等で学修した授業科目の単位についても前二項の規定を適用する。
- 4 学生は、他学部（他学科・他専攻を含む）開講科目のうち、大学の指定する授業科目について履修することができる。
- 5 第1項から第4項により履修した授業科目について修得した単位については、60単位を限度として所属学部において修得した単位とみなすことができる。
- 6 前5項の実施に関して必要な事項は別に定める。

（大学以外の教育施設等における学修）

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学又は、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項から第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

（卒業単位）

第32条 本学を卒業するためには、次の各号に定める学部所定の単位を修得しなければならない。

(1) 社会福祉学部

社会福祉学科

総合基礎科目 28単位以上

専門科目 66単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて124単位以上を修得しなければならない。

(2) 経済学部

経済学科

総合基礎科目 26単位以上

専門科目 68単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて124単位以上を修得しなければならない。

(3) 健康科学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

総合基礎科目 14単位以上
専門基礎科目・専門科目 100単位以上
総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

作業療法学専攻

総合基礎科目 14単位以上
専門基礎科目・専門科目 104単位以上
総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

介護学専攻

総合基礎科目 14単位以上
専門基礎科目・専門科目 84単位以上
総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

福祉工学科

総合基礎科目 10単位以上
専門基礎科目・専門科目 80単位以上
総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

(4) 子ども発達学部

子ども発達学科

総合基礎科目 28単位以上
専門科目 66単位以上
総合基礎科目と専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

心理臨床学科

総合基礎科目 28単位以上
専門科目 66単位以上
総合基礎科目と専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

(5) 国際福祉開発学部

国際福祉開発学科

総合基礎科目 30単位以上
専門基礎科目・専門科目 64単位以上
総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

(6) 看護学部

看護学科

総合基礎科目 16単位以上

専門基礎科目・専門科目 108単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

(7) スポーツ科学部

スポーツ科学科

総合基礎科目 25単位以上

専門科目 76単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

2 全学教育センター科目は、総合基礎科目として卒業単位に算入する。

3 第55条に定める外国人及び帰国生徒が、外国人・帰国生徒の特例科目の単位を修得したときは、これらの単位をもって別に定める所定の科目に代えることができる。

(資格)

第33条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。

本学の学部の学科において当該所要資格を修得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科	教員の免許状の種類	免許教科
社会福祉学部 社会福祉学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 福祉
経済学部 経済学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 地理歴史
子ども発達学部 子ども発達学科 保育専修	幼稚園教諭一種免許状	
子ども発達学部 子ども発達学科 学校教育専修	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状	社会

子ども発達学部 心理臨床学科	高等学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者 肢体不自由者)	公民 特別支援教育
国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語
スポーツ科学部 スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者 肢体不自由者)	保健体育 保健体育 特別支援教育

- 2 社会福祉学部社会福祉学科、健康科学部福祉工学科、及び同学部リハビリテーション学科介護学専攻で、社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 3 社会福祉学部社会福祉学科で精神保健福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、精神保健福祉士法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 4 社会福祉学部社会福祉学科及び子ども発達学部子ども発達学科で、保育士の資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 5 健康科学部福祉工学科で、一級建築士又は二級・木造建築士受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 6 健康科学部リハビリテーション学科では、前条に定める科目を取得することにより、理学療法学専攻では理学療法士国家試験受験資格が、作業療法学専攻では作業療法士国家試験受験資格が、介護学専攻では介護福祉士国家試験受験資格を取得することができる。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 7 看護学部看護学科では、前条に定める科目を修得することにより、看護師国家試験受験資格を取得することができる。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 8 看護学部看護学科で保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に

定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。

- 9 社会福祉学部社会福祉学科で、スクールソーシャルワーカーの資格を取得しようとする者は、前条に定めるほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 10 経済学部でスポーツプログラマー受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 11 経済学部でアシスタントマネジャー受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 12 経済学部で社会調査士を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 13 障がい者スポーツ指導員初級を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。

(単位の認定)

第34条 各授業科目の単位履修の認定は試験による。

- 2 試験に関する規則は別に定める。

(既修得単位の認定)

第35条 本学入学以前に、大学又は短期大学において修得した単位及び特別に本学が認めた教育課程により修得した単位について、教育上有益と認められるときは本学において修得した単位として認定することができる。

- 2 前項により、認定できる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学で修得した単位以外のものについては、第30条第1項から第3項及び第31条第1項により大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 その他既修得単位の認定に関する規則については別に定める。

(成績)

第36条 試験の成績はS・A・B・C及びDの5段階とし、S・A・B・Cは合格、Dは不合格とする。

第4節 休学・復学・転学・転部・転科・退学・除籍・再入学

(二重学籍の禁止)

第37条 学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学に正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍する者は、本学に正規学生又は研究生として入学できない。

2 本学に正規学生又は研究生として在籍する者は、学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学の正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍できない。

(休学)

第38条 疾病又はやむを得ない理由により一学期間以上就学することができない者に対して休学を許可することがある。

2 休学の許可を受けようとする者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添えて、保証人連署の上、願い出なければならない。

(休学期間)

第39条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、休学期間の延長を認めることがある。

2 休学期間は通算して4年を超えることができない。また第23条により入学した者は、同条第4項に定める在学すべき年数を超えることができない。

3 休学期間は第15条及び第23条第4項の在学年数に算入しない。

(復学)

第40条 休学期間が満了した者及び休学期間満了以前に復学しようとする者は、保証人連署の上、復学を願い出なければならない。

(転学)

第41条 他の大学へ転学しようとする学生が、保証人連署の上願い出た場合には、事情により許可することがある。

(転籍)

第42条 学内の他の学部あるいは所属学部内の他の学科等へ転籍を希望する者のあるときについては、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ許可することがある。

2 転籍を志願する者は第56条に定める検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

3 転籍に関する事項は別に定める。

(退学)

第43条 疾病又はやむを得ない理由により退学しようとする者は、医師の診断書又は、詳細な理由書を添えて、保証人連署の上、願い出て許可を受けなければならない。

(除籍)

第44条 次の各号の一に該当する者は除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
 - (2) 第15条及び第23条第4項で定める在学年数を超えた者
 - (3) 第39条第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
 - (4) 死亡した者
- (再入学)

第45条 第43条により退学した者又は前条第1号により除籍された者が、1年以内に保証人連署をもって再入学を願い出た時は、選考の上再入学を許可することがある。

第5節 卒業及び学位の授与

(卒業)

第46条 本学に4年（第23条第1項の定めるところにより入学した者については、同条第3項により定められた在学すべき年数）以上在学、かつ第4学年を修了し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

(学位の授与)

第47条 本学を卒業した者には、本学学位規則の定めるところにより学位を授与する。

第6節 賞罰

(表彰)

第48条 学生で他の模範となる行為があった場合は、表彰することがある。

(懲戒)

第49条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、その情状により次の懲戒を加える。

- (1) 訓告
 - (2) 停学
 - (3) 退学
- 2 前項第3号の退学は、次の各号の一に該当する者に対して命ずる。
- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当の理由がなくて出席が常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第7節 厚生施設

(学生寮)

第50条 削除

(保健室)

第51条 本学に保健室を置く。

第8節 研究生・科目等履修生・聴講生・外国人留学生

(研究生)

第52条 本学において特定の専門事項について研究しようとする者があるときは、教育・研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として許可することがある。

- 2 研究生に関する規則は別に定める。
- 3 研究生の入学検定料等納付金については別表6のとおりとする。

(科目等履修生)

第53条 本学における授業科目のうち、1科目又は数科目を選択して受講しようとする者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として許可することがある。

- 2 科目等履修生の入学検定料等納付金については別表7のとおりとする。
- 3 本学における授業科目のうち、特に「幼稚園教諭免許取得に関する特例科目」及び「保育士資格取得に関する特例科目」を受講しようとする者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生（幼保特例）として許可することがある。
- 4 科目等履修生（幼保特例）に係る入学検定料等納付金については別表10のとおりとする。
- 5 その他科目等履修生及び科目等履修生（幼保特例）に関する規則は別に定める。

(聴講生)

第54条 本学において特定の専門事項について研究しようとするものがあるときは、教育・研究に支障のない限り、選考のうえ、聴講生として許可することがある。

- 2 聴講生に関する規則は別に定める。
- 3 聴講生の入学検定料等納付金については別表8のとおりとする。

(外国人留学生)

第55条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 前項の外国人留学生に対しては、第24条に掲げるもののほか、日本語科目及び

日本事情に関する科目を置くことができる。

第9節 入学検定料・学費

(入学検定料・転籍試験検定料)

第56条 入学検定料及び転籍試験検定料は別表2のとおりとする。

2 学長が必要と認めた場合は、前項にかかわらず減免を行なうことができる。
(学費)

第57条 学費は別表3のとおりとする。

2 前項に定めるもののほか、課程登録費を別表4、実習費等を別表5のとおり徴収する。

3 休学者（休学期間が学期初めから、学期末までの全期間にわたる場合）については当該学期の学費は徴収しない。ただし、在籍料を徴収する。在籍料は別表9のとおりとする。

4 学費の納付に関する規則は別に定める。
(納付した検定料・学費)

第58条 納付された入学検定料・学費の返還の取り扱いについては別に定める。

第10節 通信教育課程

(通信教育課程)

第59条 本大学に通信教育課程を置く。

2 通信教育課程に関し、本学則に定めのない事項については別に定める。

附 則

- 1 本学則施行に必要な規則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和32年4月1日より施行する。
- 3 本学則は、昭和34年4月1日より一部改正施行する。
- 4 本学則は、昭和35年4月1日より一部改正施行する。
- 5 本学則は、昭和36年4月1日より一部改正施行する。
- 6 本学則は、昭和37年4月1日より一部改正施行する。
- 7 本学則は、昭和38年4月1日より改正施行する。
- 8 本学則は、昭和39年4月1日より一部改正施行する。
- 9 本学則は、昭和41年4月1日より一部改正施行する。
- 10 本学則は、昭和45年4月1日より一部改正施行する。
- 11 本学則は、昭和46年4月1日より一部改正施行する。

- 12 本学則は、昭和47年4月1日より一部改正施行する。
- 13 本学則は、昭和49年4月1日より改正施行する。

ただし、本学則の施行の際現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第48条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第48条第1項の規定にもかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。また、入学検定料の額は、昭和48年10月1日より改正施行するものとする。
- 14 本学則は、昭和50年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学生定員のうち、社会福祉学部第1部社会福祉学科の総学生定員数は、昭和50年度を初年度とする学生定員変更の完成年次の学生数を示すものとする。

また、本学則の施行の際、現に第3年次以上に在学する者の授業科目及び卒業単位は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第23条第2項別表1及び第27条の規定にもかかわらず従前の例による。

なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者の授業科目及び卒業単位は、当該者の属する年次の在学者と同様とする。入学検定料の額は、昭和49年10月1日より改正施行するものとする。
- 15 本学則は、昭和51年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学生定員のうち、経済学部経済学科の総学生定員数は、昭和51年度を初年度とする学部設置の完成年次の学生数を示すものとする。

また、入学検定料の額は昭和50年10月1日から改正施行するものとする。
- 16 本学則は、昭和52年4月1日より一部改正施行する。

ただし、入学検定料の額は、昭和51年10月1日から改正施行するものとする。
- 17 本学則は、昭和52年10月1日より一部改正施行する。
- 18 本学則は、昭和54年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則の施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にもかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

また、入学検定料の額は昭和53年10月1日から施行する。
- 19 本学則は、昭和55年4月1日より一部改正する。

ただし、入学検定料の額は昭和54年10月1日から施行する。
- 20 本学則は、昭和56年4月1日より一部改正施行する。

- 21 本学則は、昭和56年10月1日より一部改正施行する。
- 22 本学則は、昭和57年4月1日より一部改正施行する。
 ただし、本学則の施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。
- 23 本学則は、昭和58年4月1日より一部改正施行する。
 ただし、本学則第3条に定める学年定員のうち社会福祉学部第一部社会福祉学科の総学生定員数は昭和58年度を初年度とする学生定員変更の完成年次の学生数を示すものとする。
- 24 本学則は、昭和59年4月1日より一部改正施行する。
 ただし、本学則施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学した者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。
- 25 本学則は、昭和60年4月1日より一部改正施行する。
- 26 本学則は、昭和60年10月1日より一部改正施行する。
- 27 本学則は、昭和61年4月1日より一部改正施行する。
 ただし、本学則第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
社会福祉学部 第一部 社会福祉学科	400人
社会福祉学部 第二部 社会福祉学科	200
経 済 学 部 経 済 学 科	300

- 28 本学則は、昭和61年10月1日より一部改正施行する。
- 29 本学則は、昭和62年4月1日より改正施行する。
- 30 本学則は、昭和62年8月1日より改正施行する。
- 31 本学則は、昭和63年4月1日より改正施行する。
 ただし、本学則施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学した者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する

年次の在学者に係る額と同額とする。

- 32 本学則は、平成元年4月1日より施行する。
昭和63年度以前の入学者は従前の例による。
ただし、第23条については昭和63年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。
- 33 本学則は、平成元年10月1日より一部改正施行する。
- 34 本学則は、平成2年4月1日より改正施行する。
平成元年度以前の入学者は従前の例による。
ただし第23条については平成元年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。
また、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。
- 35 本学則は、平成2年10月1日より一部改正施行する。
- 36 本学則は、平成3年4月1日より改正施行する。
平成2年度以前の入学者は従前の例による。
ただし、本学則第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
社会福祉学部 第1部 社会福祉学科	500人
社会福祉学部 第2部 社会福祉学科	200
経 済 学 部 経 済 学 科	400

また、第23条については平成2年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。

また、第29条第2項の地理歴史ならびに公民の免許教科については、平成2年度入学生から適用する。

- 37 本学則は、平成3年9月15日より一部改正施行する。
- 38 本学則は、平成4年4月1日より改正施行する。
平成3年度以前の入学者は、第49条を除き従前の例による。
また、第23条については平成3年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 39 本学則は、平成5年4月1日より改正施行する。
平成4年度以前の入学者は、第49条を除き従前の例による。
また、第23条については平成4年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。

- 40 本学則は、平成6年4月1日より改正施行する。
平成5年度以前の入学者は、第51条を除き従前の例による。
また、第23条については平成5年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 41 本学則は、平成6年10月1日より一部改正施行する。
- 42 本学則は、平成7年4月1日より一部改正施行する。
ただし、第23条については平成6年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 43 本学則は、平成8年4月1日より一部改正施行する。
平成7年度以前の入学者は第29条、第52条を除き従前の例による。
ただし、第23条については平成7年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
また、本学則第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
社会福祉学部 第1部 社会福祉学科	500人
社会福祉学部 第2部 社会福祉学科	200
経済学部 経済学科	200
経営開発学科	200
情報社会科学部 情報社会科学科	190

- 44 本学則は、平成9年4月1日より一部改正施行する。
平成8年度以前の入学者は、第52条を除き従前の例による。
ただし、第23条については平成8年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による範囲は別に定める。
- 45 本学則は、平成10年4月1日より一部改正施行する。
平成8年度以前の入学者は第29条を除き従前の例による。
平成9年度以前の入学者は第53条を除き従前の例による。
ただし、第23条については平成8年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 46 本学則は、平成10年10月1日より一部改正施行する。
- 47 本学則は、平成11年4月1日より一部改正施行する。
平成10年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第29条については従前の例による。
- 48 本学則は、平成12年4月1日より一部改正施行する。

平成11年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第30条については、従前の例による。また、社会福祉学部第1部社会福祉学科は、本学則第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。社会福祉学部第2部社会福祉学科に在籍する者は、平成15年3月31日までは同部同学科に在籍することができるが、平成15年4月1日以降については、社会福祉学部社会福祉学科夜間主コースに在籍するものとする。

第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	人	人	人	人
社会福祉学部				
社会福祉学科 昼間主コース	290	280	270	260
夜間主コース	80	80	80	80
保健福祉学科 昼間主コース	150	150	150	150
夜間主コース	70	70	70	70
経済学部				
経済学科	200	200	200	200
経営開発学科 昼間主コース	190	180	170	160
夜間主コース	70	70	70	70
情報社会科学部				
情報社会科学科	190	190	190	190

49 本学則は、平成12年10月1日より一部改正施行する。

50 本学則は、平成13年4月1日より一部改正施行する。

51 本学則は、平成13年10月1日より一部改正施行する。

52 本学則は、平成14年4月1日より一部改正施行する。

53 本学則は、平成15年4月1日より一部改正施行する。

平成14年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第30条については、従前の例による。また、経済学部経営開発学科は、本学則第2条の規定にかかわらず、平成18年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

54 本学則は、平成16年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学年定員のうち社会福祉学部保健福祉学科昼間主コースの総学生定員数は平成16年度を初年度とする学生定員変更の完成年次の学生数を示すものとする。

平成15年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第30条については、従前の例による。また、情報社会科学部情報社会科学科は、本学則第2条の規程にかかわらず、平成19年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

55 本規則は、平成16年5月1日より一部改正施行する。

56 本規則は、平成17年4月1日より一部改正施行する。

57 本規則は、平成17年7月1日より一部改正施行する。

58 本規則は、平成18年4月1日より一部改正施行する。

59 本規則は、平成19年4月1日より一部改正施行する。ただし、保育士養成及び特別支援学校教諭一種免許に関する事項については平成19年4月1日の新入学者からの適用とし、編入学者には学年の進行に伴って適用する。それ以外の入学者の取り扱い従前の例による。

60 本規則は、平成20年4月1日より一部改正施行する。

平成19年度以前の入学者については、第24条の適用範囲を別に定める。第32条、第33条及び第57条については、従前の例による。また、社会福祉学部心理臨床学科、情報社会科学部人間福祉情報学科、情報社会科学部生活環境情報学科及び福祉経営学部国際福祉開発マネジメント学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

なお、保育士養成の定員については平成20年4月1日の新入学者からの適用とし、それ以前の入学者は従前の例による。

61 本規則は、平成21年4月1日より一部改正施行する。

62 本規則は、平成22年4月1日より一部改正施行する。

63 本規則は、平成23年4月1日より一部改正施行する。

平成22年度以前の入学者については、第24条の適用範囲を別に定める。第32条、33条、46条及び57条については従前の例による。また、社会福祉学部社会福祉科夜間主コース、社会福祉学部保健福祉学科、福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、平成26年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

64 本規則は、平成24年4月1日より一部改正施行する。

ただし、社会福祉学部の平成23年度以前の入学者については別表1の授業科目の定めにかかわらず従前の例による。

65 本規則は、平成25年4月1日より一部改正施行する。

ただし、健康科学部福祉工学科健康情報専攻及びバリアフリーデザイン専攻は、本学則第4条の規定にかかわらず、平成28年3月31日に当該専攻に在籍する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

平成24年度以前の入学者については、別表5の社会福祉学部「海外フィールドワーク」、経済学部経済学科「海外事情研究」、「海外フィールドワークⅡ」、福祉経営学部「海外事情研究」「海外フィールドワークⅢ」、健康科学部「国際理解」、子ども発達学部「海外フィールドワーク」、及び国際福祉開発学部「国際フィールドワークⅠ」「国際フィールドワークⅡ」に係る実習費、ならびに第32条第2項を除き、従前の例による。

66 本規則は、平成26年4月1日より一部改正施行する。

67 本規則は、平成26年5月24日より一部改正施行する。

68 本規則は、平成27年4月1日より一部改正施行する。

平成26年度以前の入学者については、別表1に規定する各学科の設置科目「ビジネススキル」、「インターンシップⅠ」、「インターンシップⅡ」、「インターンシップⅢ」、「インターンシップⅣ」及び全学教育センター科目「ふくしとフィールドワーク」、「知多半島のふくし」、「ふくしと減災コミュニティ」を除き、従前の例とする。

69 本学則は、平成27年9月1日より一部改正施行する。

70 本学則は、平成29年4月1日より一部改正施行する。

別表 1

(1) 社会福祉学部

①総合基礎科目

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
総合演習		4	英語演習Ⅱ		1
リテラー・コミュニケーション力演習		1	言語と文化Ⅰ－1（ドイツ）		1
社会福祉基礎演習		4	言語と文化Ⅰ－2（ドイツ）		1
法学		2	言語と文化Ⅱ－1（ドイツ）		1
日本国憲法		2	言語と文化Ⅱ－2（ドイツ）		1
哲学		2	言語と文化Ⅰ－1（ポルトガル）		1
社会学		2	言語と文化Ⅰ－2（ポルトガル）		1
心理学		2	言語と文化Ⅱ－1（ポルトガル）		1
政治学		2	言語と文化Ⅱ－2（ポルトガル）		1
経済学		2	言語と文化Ⅰ－1（中国）		1
現代生活論		2	言語と文化Ⅰ－2（中国）		1
社会福祉入門		2	言語と文化Ⅱ－1（中国）		1
ライフデザイン入門		2	言語と文化Ⅱ－2（中国）		1
ボランティア論		2	言語と文化Ⅰ－1（韓国・朝鮮）		1
宗教学		2	言語と文化Ⅰ－2（韓国・朝鮮）		1
死生学		2	言語と文化Ⅱ－1（韓国・朝鮮）		1
ジェンダー論		2	言語と文化Ⅱ－2（韓国・朝鮮）		1
国際関係論		2	情報処理演習Ⅰ	2	
文学		2	情報処理演習Ⅱ		2
コミュニケーション論		2	福祉データ処理演習		2
日本史		2	スポーツ		2
外国史		2	健康スポーツ論		2
近現代史		2	スポーツ研究		2
地理学		4	海外フィールドワーク		4
現代基礎教養		2	スウェーデンの社会と福祉		2
フレッシュマン・イングリッシュⅠ－1	1				
フレッシュマン・イングリッシュⅠ－2	1				
フレッシュマン・イングリッシュⅡ－1	1				
フレッシュマン・イングリッシュⅡ－2	1				
英語演習Ⅰ		1			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ-1	1	
日本語と文化Ⅰ-2	1	
日本語と文化Ⅱ-1	1	
日本語と文化Ⅱ-2	1	
日本語と文化Ⅲ-1	1	
日本語と文化Ⅲ-2	1	
日本語と文化Ⅳ-1	1	
日本語と文化Ⅳ-2	1	

②専門科目

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
医学概論		2	精神保健学Ⅰ		2
障害者コミュニケーション		2	精神保健学Ⅱ		2
社会福祉原論Ⅰ	2		地域保健学		2
社会福祉原論Ⅱ	2		精神医学Ⅰ		2
社会福祉方法原論Ⅰ		2	精神医学Ⅱ		2
社会福祉方法原論Ⅱ		2	リハビリテーション医学		2
ソーシャルワークⅠ		2	ケアマネジメント論		2
ソーシャルワークⅡ		2	ケアマネジメント演習		2
ソーシャルワークⅢ		2	保健医療福祉論特講		2
ソーシャルワークⅣ		2	精神保健福祉援助技術総論		2
社会福祉発達史Ⅰ		2	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		4
社会福祉発達史Ⅱ		2	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		2
高齢者福祉論Ⅰ		2	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		2
高齢者福祉論Ⅱ		2	精神保健福祉制度論Ⅰ		2
障害者福祉論		2	精神保健福祉制度論Ⅱ		2
障害者福祉論特講		2	精神保健福祉援助演習Ⅰ		1
児童・家庭福祉論		2	精神保健福祉援助演習Ⅱ		2
児童・家庭福祉論特講		2	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1
地域福祉論Ⅰ		2	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		2
地域福祉論Ⅱ		2	精神保健福祉援助実習		5
東アジアの社会福祉		1	ターミナルケア		2
外国籍住民支援		1	医療ソーシャルワーク演習		2
国際福祉論		2	医療ソーシャルワーク実習指導		1
司法福祉論		2	医療ソーシャルワーク実習		2
施設福祉論		2	権利擁護と成年後見制度		2
社会福祉経営論		2	就労支援		1
福祉計画論		2	キャリアデザイン基礎		2
保健医療サービス論		2	キャリアデザイン特論		2
介護技術演習		2	福祉環境論		2
医療福祉論Ⅰ		2	福祉行財政論		2
医療福祉論Ⅱ		2	福祉NPO論		2
健康福祉学		2	公的扶助論		2
精神保健福祉論		2	社会保障論Ⅰ		2

社会保障論Ⅱ	2	キャリア支援特別講義Ⅳ	2
総合政策学	2	地域研究プロジェクトⅠ	2
地方自治論	2	キャリア支援特別講義Ⅰ	2
社会福祉調査論	2	キャリア支援特別講義Ⅱ	2
地域開発論	2	キャリア支援特別講義Ⅲ	2
社会福祉関係法	2	地域研究プロジェクトⅠ	2
福祉法学	2	地域研究プロジェクトⅡ	2
民法	4	レクリエーション・ワーク論	2
行政法	4	レクリエーション実技	2
労働法	4	スクールソーシャルワーク論	2
発達心理学	2	福祉教育論	1
臨床心理学	2	社会福祉特別講義	2
老年心理学	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1
産業カウンセリング論	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1
教育原理	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2
生涯教育論Ⅰ	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1
生涯教育論Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習	4
障害者心理学	2	ソーシャルワーク実習入門	1
家族援助論	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1
地域社会学	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
家族社会学	2	ソーシャルワーク専門実習指導	1
社会的養護	2	ソーシャルワーク専門実習	2
介護福祉論	2	実習指導支援演習	2
ソーシャルワーク外書講読	2	社会福祉援助技術現場実習(教職)	2
保育原理Ⅰ	2	社会福祉専門演習Ⅰ	4
保育原理Ⅱ	2	社会福祉専門演習Ⅱ	4
障害児心理学	2	卒業論文	2
学童保育論	2		
マーケティング	4		
経営組織	4		
人材マネジメント	4		
医療情報管理	2		
インターンシップⅠ	1		
インターンシップⅡ	2		
インターンシップⅢ	1		
インターンシップⅣ	2		

③自由科目

社会福祉学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

社会福祉学科

授業科目名	自由	授業科目名	自由
教職入門 B	2	子どもの保健 A	2
教育原理 B	2	子どもの保健 B	2
教育心理学概論	2	子どもの保健演習	1
発達心理学概論	2	子どもの食と栄養演習	2
教育制度論 B	2	家庭支援論	2
教育課程論 B	2	保育課程論	2
道德教育の指導法 B	2	保育内容総論	1
特別活動方法論 B	2	保育内容 A 【からだと健康】	1
教育方法論 B	2	保育内容 B 【仲間と交わり】	1
生徒・進路指導論 B	2	保育内容 C 【生活と環境】	1
カウンセリング論 B	2	保育内容 D 【発達と言葉】	1
教育相談の基礎と方法 B	2	保育内容 E 【感性と表現】	1
社会科教育法 I	2	乳児保育演習	2
社会科教育法 II	2	障害児保育演習	2
社会科教育法 III	2	社会的養護内容演習	1
社会科教育法 IV	2	音楽演習	1
公民科教育法 I	2	造形演習	1
公民科教育法 II	2	身体表現演習	1
福祉科教育法 I	2	言語表現演習	1
福祉科教育法 II	2	保育実習 I-A	2
教育実習 I B (事前事後)	1	保育実習 I-B	2
教育実習 II B	4	保育実習指導 I-A	1
教育実習 III B	2	保育実習指導 I-B	1
教職実践演習 (中高)	2	保育実践演習	2
初等教育原理	2	教育福祉論	2
保育職論	2	保育方法論 I	2
教育と発達の心理学	2	保育方法論 II	2
保育心理学演習	1	保育実習 II 【保育所】	2

保育実習Ⅲ【施設】	2
保育実習指導Ⅱ【保育所】	1
保育実習指導Ⅲ【施設】	1
スクールソーシャルワーク演習	1
スクールソーシャルワーク実習指導	1
スクールソーシャルワーク実習	2

(2) 経済学部

①総合基礎科目

経済学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本の歴史		4	インターンシップⅢ		1
法と社会（日本国憲法）		4	インターンシップⅣ		2
環境と人間		2	自然地理学		2
社会学		2	人文地理学		2
法と人権		2	現代教養Ⅱ		2
心理学		2	キャリア開発Ⅱ		2
政治学		2	キャリア開発Ⅲ		2
現代のアジア		2	宗教学		2
芸術創造		2	地理学（地誌を含む）		4
情報と社会		2	日本史特講		2
福祉社会		2	外国史特講		2
地球人間学		2	数学入門		1
情報処理演習Ⅰ		2	英語入門		1
情報処理演習Ⅱ		2	海外事情研究		4
健康・スポーツⅠ		2	キャリア形成Ⅰ		2
英語コミュニケーションⅠ	1		キャリア形成Ⅱ		2
英語コミュニケーションⅡ	1		キャリア形成Ⅲ		2
英語コミュニケーションⅢ	1		キャリア形成Ⅳ		2
英語コミュニケーションⅣ	1		海外フィールドワークⅠ		2
地域社会と共生		2	海外フィールドワークⅡ		2
キャリア開発入門		2	海外フィールドワークⅢ		4
基礎演習Ⅰ		2	海外フィールドワークⅣ		4
外国の歴史		4	英語Ⅰ		2
健康・スポーツⅡ		2	英語Ⅱ		2
英語コミュニケーションⅤ		2	英語Ⅲ		2
英語コミュニケーションⅥ		2			
哲学		2			
キャリア開発Ⅰ		2			
現代教養Ⅰ		2			
基礎演習Ⅱ		2			
インターンシップⅠ		1			
インターンシップⅡ		2			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

経済学科

授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ	1	
日本語と文化Ⅱ	1	
日本語と文化Ⅲ	1	
日本語と文化Ⅳ	1	
日本語と文化Ⅴ	1	
日本語と文化Ⅵ	1	
日本語と文化Ⅶ	1	
日本語と文化Ⅷ	1	

②専門科目

経済学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
経済学	4		現代の医療と福祉		4
経済史		4	医療福祉政策Ⅰ（経済）		2
統計学Ⅰ		2	医療福祉政策Ⅱ（政策）		2
経済経営のための数学	2		医療福祉メディア概論		2
簿記		2	医学概論		2
スポーツ社会学		2	高齢社会論		2
スポーツ心理学		2	スポーツコーチング論		2
経営学		4	地域スポーツ経営論		2
財政学		4	社会政策		4
金融論		4	社会保障論		4
マクロ経済学		4	専門演習Ⅱ		2
ミクロ経済学		4	専門演習Ⅲ		2
会計学		4	地域研究プロジェクトⅡ		2
法律学		4	地域研究プロジェクトⅢ		2
専門演習Ⅰ		2	環境経済学		4
地域研究プロジェクトⅠ		2	公共経済学		4
民法		4	都市経済学		4
行政法		4	労働経済学		4
地域経済論		4	厚生経済学		2
社会調査概論		2	地方行財政Ⅰ（財政）		2
社会調査法Ⅰ		2	地方行財政Ⅱ（行政）		2
社会調査法Ⅱ		2	特別講義Ⅰ		2
統計学Ⅱ		2	金融ポートフォリオ		2
地域研究		4	地域金融		2
計量経済学		4	経営財務論		2
証券論		2	管理会計		2
財務会計		2	特別講義Ⅱ		2
消費者と法		2	企業法Ⅰ（会社法）		2
国際経済		4	企業法Ⅱ（独禁法・金融商品取引法）		2
マーケティング		4	労働法		4
経営組織		4	経営戦略		4
人材マネジメント		4	産業組織論		4
アジア経済論		2	中小企業論		2

ベンチャー経営		2
意思決定論		2
特別講義Ⅲ		2
医療福祉経営論		4
生涯スポーツマネジメント		4
医療福祉会計		2
医療情報管理		2
医療福祉関係法		2
スポーツ医学		2
特別講義Ⅳ		2
経済とビジネス		2
専門演習Ⅳ		2
専門演習Ⅴ		2
卒業論文		4
簿記Ⅰ		1
簿記Ⅱ		1
簿記Ⅲ		1

③自由科目

経済学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

経済学科

授業科目名	自由	授業科目名	自由
教職入門 B	2	運動処方演習	2
教育原理 B	2		
教育心理学概論	2		
発達心理学概論	2		
教育制度論 B	2		
教育課程論 B	2		
道德教育の指導法 B	2		
特別活動方法論 B	2		
教育方法論 B	2		
生徒・進路指導論 B	2		
教育相談の基礎と方法 B	2		
カウンセリング論 B	2		
社会科教育法 I	2		
社会科教育法 II	2		
社会科教育法 III	2		
社会科教育法 IV	2		
公民科教育法 I	2		
公民科教育法 II	2		
地歴科教育法 I	2		
地歴科教育法 II	2		
教育実習 I B (事前事後)	1		
教育実習 II B	4		
教育実習 III B	2		
総合演習 I	2		
教職実践演習 (中高)	2		
体力トレーニング演習	4		
体力測定演習	2		
フィットネスエクササイズ演習	2		

(3) 健康科学部リハビリテーション学科・福祉工学科

①総合基礎科目

リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻・介護学専攻

授業科目名	理学療法学 専攻		作業療法学 専攻		介護学 専攻	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択
基礎演習	2		2			
基礎演習Ⅰ					1	
基礎演習Ⅱ					1	
国際コミュニケーションⅠ		1		1	1	
国際コミュニケーションⅡ		1		1	1	
国際コミュニケーションⅢ		1		1	1	
国際コミュニケーションⅣ		1		1	1	
心理学		2		2	2	
社会学		2		2	2	
経済学		2		2		2
自然科学概論		2		2		2
統計学演習		2		2		2
情報処理演習		2		2		2
スポーツと健康		2		2		2

福祉工学科

授業科目名	必修	選択
国際コミュニケーションⅠ		1
国際コミュニケーションⅡ		1
国際コミュニケーションⅢ		1
国際コミュニケーションⅣ		1
心理学		2
社会学		2
経済学		2
自然科学概論		2
情報処理演習	2	
スポーツと健康		2
国際理解		4

②専門基礎科目

リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻

授業科目名	理学療法学 専攻		作業療法学 専攻	
	必修	選択	必修	選択
リハビリテーション概論	2		2	
人間発達学	1		1	
生理学Ⅰ			2	
生理学Ⅱ			2	
生理学	2			
生化学		1		
神経生理学	1			
神経生理学実習	1			
解剖学Ⅰ	4		4	
解剖学Ⅱ	2		2	
生理学実習	1		2	
解剖学Ⅰ実習	2		2	
解剖学Ⅱ実習	2		2	
運動学	2		2	
健康科学				2
医学概論	1		1	
臨床心理学	1		1	
小児科学	1		1	
老年学	1			1
薬理学		1		
救急医学		1		1
機能解剖学		2		2
医学英語Ⅰ		1		1
医学英語Ⅱ		1		1
病理学	2		2	
整形外科	2		2	
内科学	2		2	
臨床神経科学	2		2	
精神科学	2		2	
臨床運動学	2		2	
運動学実習	1		1	

リハビリテーション学科介護学専攻

授業科目名	介護学専攻	
	必修	選択
リハビリテーション概論	2	
社会福祉原論Ⅰ	2	
社会福祉原論Ⅱ		2
介護福祉論Ⅰ	2	
介護福祉論Ⅱ	2	
医学一般Ⅰ（からだのしくみ）	2	
生活支援技術Ⅰ（からだのしくみ）	2	
健康科学		2
生理学	2	
基礎バイオメカニクス		2
医学一般Ⅱ（疾患の理解）	2	
社会調査法		2

福祉工学科

授業科目名	必修	選択
健康科学		2
基礎数学Ⅰ	2	
基礎数学Ⅱ		2
リハビリテーション論		2
確率統計学演習		2
医学一般Ⅰ（からだのしくみ）		2
生理学		2
情報工学入門		2
健康情報演習Ⅰ		1
健康情報演習Ⅱ		1
健康情報演習Ⅲ		1
健康情報演習Ⅳ		1
論理回路		2
社会調査法		2
建築デザイン入門		2
環境共生入門		2
建築芸術		2

③専門科目

リハビリテーション学科理学療法学専攻

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
理学療法学概論	1		スポーツ理学療法学		2
公衆衛生学		2	医療経済学		2
機能障害科学	1		ターミナルケア		2
機能障害解析学	1		栄養学		2
理学療法基礎治療学Ⅰ	2		精神障害リハビリテーション		1
理学療法基礎治療学Ⅱ	2		ニューラックセラピー		1
物理療法学	2		ヘルスプロモーション		1
物理療法学実習	1		疼痛医学		2
日常生活活動学	2		前庭リハビリテーション		1
日常生活活動学実習	1		理学療法学研究Ⅰ	1	
理学療法評価学Ⅰ	2		理学療法学研究Ⅱ	1	
理学療法評価学Ⅱ	2		見学実習指導	1	
理学療法評価学Ⅲ	2		評価実習指導	1	
理学療法評価学Ⅰ実習	1		総合実習指導	1	
理学療法評価学Ⅱ実習	1		見学実習	1	
理学療法評価学Ⅲ実習	1		評価実習	4	
障害者福祉論		2	総合実習Ⅰ	7	
義肢装具学	2		総合実習Ⅱ	7	
義肢装具学実習	1				
小児理学療法学	1				
老年期理学療法学		1			
運動器理学療法学	2				
運動器理学療法学実習	1				
内部障害理学療法学	2				
内部障害理学療法学実習	1				
神経系理学療法学	2				
神経系理学療法学実習	1				
地域理学療法学	1				
福祉住環境		2			
医療管理学	1				
医療統計学		1			
統合理学療法学	2				
リハビリテーション工学		2			

リハビリテーション学科作業療法学専攻

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
作業療法学概論	1		医療経済学		2
公衆衛生学		2	ターミナルケア		2
基礎作業学	2		栄養学		2
作業療法評価学Ⅰ	2		前庭リハビリテーション		1
作業療法評価学実習Ⅰ	1		内科系障害リハビリテーション	1	
作業療法評価学実習Ⅱ	1		総合作業療法学	1	
身体障害作業療法学Ⅰ	2		総合作業療法学演習		1
精神障害作業療法学	2		作業療法学演習		1
日常生活活動学	2		作業療法学研究Ⅰ	1	
日常生活活動学実習	1		作業療法学研究Ⅱ	1	
地域福祉論		2	評価実習指導		1
リハビリテーション介護	1		総合実習指導		1
高齢者福祉論		2	見学実習	2	
障害者福祉論		2	評価実習	3	
作業療法指導技法Ⅰ（実技）	1		総合実習Ⅰ	12	
集団活動指導技法（実技）	1		総合実習Ⅱ	6	
作業療法評価学Ⅱ	2				
身体障害作業療法学Ⅱ	2				
老年期作業療法学	2				
小児作業療法学	2				
高次脳機能障害学	2				
義肢装具学	2				
義肢装具学実習	1				
地域リハビリテーションⅠ	1				
地域リハビリテーションⅡ	1				
福祉住環境		2			
中枢疾患リハビリテーション	1				
整形疾患リハビリテーション	1				
高次脳機能障害リハビリテーション	1				
精神障害リハビリテーション	1				
認知症リハビリテーション	2				
医療管理学	1				
作業療法指導技法Ⅱ（実技）	1				
リハビリテーション工学		2			

リハビリテーション学科介護学専攻

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
コミュニケーションⅠ	2		介護実習Ⅲ	5	
コミュニケーションⅡ	2		障害者スポーツ	2	
リハビリテーション介護		1	児童・家庭福祉論		2
リスクマネジメント	2		低所得者福祉論		2
生活支援技術Ⅱ	2		社会保障論Ⅰ	2	
生活支援技術演習Ⅰ	1		社会保障論Ⅱ		2
生活支援技術演習Ⅱ	1		福祉行財政・計画論		2
生活支援技術演習Ⅲ	1		福祉サービス組織論		2
介護過程演習Ⅰ	1		保健医療サービス論		2
介護過程演習Ⅱ	1		就労支援サービス論		1
介護過程演習Ⅲ	1		権利擁護と成年後見制度		2
介護過程演習Ⅳ	1		更生保護制度		1
他職種連携	2		福祉住環境		2
高齢者福祉論		2	相談援助の理論と方法Ⅰ		2
障害者福祉論		2	相談援助の理論と方法Ⅱ		2
高齢者の心理	2		相談援助の理論と方法Ⅲ		2
家政学Ⅰ（調理実習）	1		相談援助の理論と方法Ⅳ		2
精神保健	2		相談援助演習Ⅰ		2
生活支援技術（運動機能障害）	2		相談援助演習Ⅱ		2
生活支援技術（内部障害）	2		相談援助演習Ⅲ		1
生活支援技術（視覚・聴覚障害）	2		相談援助実習指導Ⅰ		1
介護過程	2		相談援助実習指導Ⅱ		1
地域福祉論Ⅰ		2	相談援助実習指導Ⅲ		1
地域福祉論Ⅱ		2	相談援助実習指導Ⅳ		1
相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2	相談援助実習A・B		4
相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2	中枢疾患リハビリテーション		1
医療的ケア	2		整形疾患リハビリテーション		1
医療的ケア演習（吸引）	1		高次脳機能障害リハビリテーション		1
医療的ケア演習（経管栄養）	1		精神障害リハビリテーション		1
障害者の心理	2		認知症リハビリテーション	2	
家政学Ⅱ（住居）	2		介護学研究Ⅰ	2	
ターミナルケア	2		介護学研究Ⅱ	2	
認知症介護	2		介護総合演習Ⅰ	1	
加齢体力論	2		介護総合演習Ⅱ	1	
介護実習Ⅰ	2		介護総合演習Ⅲ	2	
介護実習Ⅱ	3				

福祉工学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
社会福祉原論Ⅰ		2	義肢と装具		1
力学基礎		2	建築デザイン表現演習Ⅱ		2
介護福祉論		2	建築デザイン表現演習Ⅲ		2
プログラミング演習Ⅰ		2	キャリア開発		2
情報技術Ⅰ		2	福祉サービス組織論		2
情報技術Ⅱ		2	就労支援サービス論		1
情報技術Ⅲ		2	権利擁護と成年後見制度		2
情報技術Ⅳ		2	身体の構造と機能		2
キャリア形成Ⅰ		2	福祉用具演習Ⅰ		1
キャリア形成Ⅱ		2	身体機能リハビリテーション		2
キャリア形成Ⅲ		2	認知機能リハビリテーション		2
キャリア形成Ⅳ		2	福祉用具市場の理解		2
コンピュータシステムⅠ		2	福祉情報実験		1
コンピュータシステムⅡ		2	リハビリテーションシステムⅠ		2
データ構造とアルゴリズム		2	リハビリテーションシステムⅡ		2
ネットワーク設計演習		2	医療システム開発演習Ⅰ		2
プログラミング演習Ⅱ		2	医療システム開発演習Ⅱ		2
リハビリテーション工学		2	地域リハビリテーションⅠ		1
福祉用具論		2	地域リハビリテーションⅡ		1
高齢者福祉論		2	住環境整備・住宅関連機器		2
障害者福祉論		2	健康情報実験		1
インターンシップⅠ	1		福祉用具演習Ⅱ		1
インターンシップⅡ		2	福祉用具演習Ⅲ		1
インターンシップⅢ	1		福祉用具応用		2
インターンシップⅣ		2	福祉用具プランニング演習Ⅰ		1
医療情報システム論Ⅰ		2	福祉用具プランニング演習Ⅱ		1
医療情報システム論Ⅱ		2	ヒューマンインターフェース		2
プログラミング応用		2	基礎バイオメカニクス		2
Webプログラミング演習		2	建築の歴史		2
システム設計論		2	建築図学		2
マルチメディア		2	建築製図演習		4
情報ネットワーク		2	建築学概論		2
地域福祉論Ⅰ		2	建築計画		2
低所得者福祉論		2	建築人間工学		2

社会保障論 I	2	建築ユニバーサルデザイン論	2
障害者スポーツ	2	建築ユニバーサルデザイン演習	2
建築デザイン表現演習 I	2	環境共生のまちづくり	2
キャリア研究 I	2	都市景観生態学	2
キャリア研究 II	2	建築 CAD 演習 II	2
建築材料 I	2	ビオトープ研究	2
建築材料 II	2	卒業研究 I	4
建築構造力学	2	卒業研究 II	4
建築構造力学応用	2		
建築測量実習	2		
建築 CAD 演習 I	2		
環境政策論	2		
森林保護学	2		
生態学概論	2		
建築法規	2		
福祉住環境	2		
建築環境デザイン論	2		
建築設備	2		
建築一般構造	2		
建築一般構造応用	2		
建築生産	2		
建築環境工学	2		
住宅の設計	2		
建築設計演習 I	4		
建築設計演習 II	4		
エコロジカル建築設計演習	4		
福祉環境設計演習	4		
都市計画論	2		
都市生態系の保全	2		
環境経済学	2		
建築防災計画	2		
ビオトープ計画施行演習	4		
環境分析評価演習	2		
造園学	2		
都市緑化論	2		
エコロジカル建築	2		

④自由科目

リハビリテーション学科・福祉工学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

福祉工学科

授業科目名	自由
社会福祉原論Ⅱ	2
児童・家庭福祉論	2
地域福祉論Ⅱ	2
社会保障論Ⅱ	2
福祉行財政・計画論	2
保健医療サービス論	2
更生保護制度	1
相談援助実習指導Ⅰ	1
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2
相談援助の理論と方法Ⅰ	2
相談援助の理論と方法Ⅱ	2
相談援助の理論と方法Ⅲ	2
相談援助の理論と方法Ⅳ	2
相談援助演習Ⅰ	2
相談援助演習Ⅱ	2
相談援助演習Ⅲ	1
相談援助実習指導Ⅱ	1
相談援助実習指導Ⅲ	1
相談援助実習指導Ⅳ	1
相談援助実習A・B	4

(4) 子ども発達学部

①総合基礎科目

子ども発達学科

授業科目名	保育専修		学校教育専修	
	必修	選択	必修	選択
子ども発達学B		2		2
心理学概論		2		2
思春期のセクシャリティ		2		2
生物と人間		2		2
海外フィールドワーク		4		4
スポーツと文化		2		2
総合演習 I		2		2
スポーツ実技	2		2	
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1		1	
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1		1
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1		1	
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1		1
言語と文化 I-1(韓国・朝鮮)		1		1
言語と文化 I-2(韓国・朝鮮)		1		1
言語と文化 I-1 (中国)		1		1
言語と文化 I-2 (中国)		1		1
言語と文化 I-1 (ポルトガル)		1		1
言語と文化 I-2 (ポルトガル)		1		1
言語と文化 I-1 (スペイン)		1		1
言語と文化 I-2 (スペイン)		1		1
日本国憲法	2		2	
情報処理演習 I		2	2	
情報処理演習 II		2		2
アダプテッド・スポーツ I		2		2
アダプテッド・スポーツ II		2		2
現代基礎教養 I (現代社会と市民生活)		2		2
総合演習 II		2		2
現代基礎教養 II (市民参加と民主主義)		2		2
子ども発達学A		2		2
子ども発達学C		2		2

子ども発達学D		2		2
特別ニーズ教育論		2		2
障害者論		2		2
認知心理学概論		2		2
保育学基礎演習 I		2		
児童福祉学基礎演習 I		2		2
教育学基礎演習 I				2
保育学基礎演習 II		2		
児童福祉学基礎演習 II		2		2
教育学基礎演習 II				2

心理臨床学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
子ども発達学B		2	認知心理学概論		2
心理学概論	2		心理学基礎演習 I		2
思春期のセクシャリティ		2	障害学基礎演習 I		2
生物と人間		2	心理学基礎演習 II		2
海外フィールドワーク		4	障害学基礎演習 II		2
スポーツと文化		2			
総合演習 I		2			
スポーツ実技		2			
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1				
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1			
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1				
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1			
言語と文化 I -1(韓国・朝鮮)		1			
言語と文化 I -2(韓国・朝鮮)		1			
言語と文化 I -1 (中国)		1			
言語と文化 I -2 (中国)		1			
言語と文化 I -1 (ポルトガル)		1			
言語と文化 I -2 (ポルトガル)		1			
言語と文化 I -1 (スペイン)		1			
言語と文化 I -2 (スペイン)		1			
日本国憲法		2			
情報処理演習 I		2			
情報処理演習 II		2			
アダプテッド・スポーツ I		2			
アダプテッド・スポーツ II		2			
現代基礎教養 I (現代社会と市民生活)		2			
総合演習 II		2			
現代基礎教養 II (市民参加と民主主義)		2			
子ども発達学A		2			
子ども発達学C		2			
子ども発達学D		2			
特別ニーズ教育論		2			
障害者論		2			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

子ども発達学科・心理臨床学科

授業科目名	子ども発達学科		心理臨床学科	
	必修	選択	必修	選択
日本語と文化Ⅰ-1	1		1	
日本語と文化Ⅰ-2	1		1	
日本語と文化Ⅱ-1	1		1	
日本語と文化Ⅱ-2	1		1	
日本語と文化Ⅲ-1	1		1	
日本語と文化Ⅲ-2	1		1	
日本語と文化Ⅳ-1	1		1	
日本語と文化Ⅳ-2	1		1	

②専門科目

子ども発達学科 保育専修

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
社会福祉論		2	乳幼児の造形演習Ⅱ		2
教育と発達の心理学C	2		乳幼児の体育演習Ⅰ		2
保育心理学演習		1	乳幼児の体育演習Ⅱ		2
保育職論	2		教育原理C	2	
保育原理Ⅰ	2		教育制度論C	2	
保育原理Ⅱ		2	保育実習Ⅱ（保育所）		2
子どもの保健A		2	保育実習指導Ⅱ（保育所）		1
子どもの保健B		2	保育実習Ⅲ（施設）		2
子どもの保健演習		1	保育実習指導Ⅲ（施設）		1
保育内容演習	2		保育臨床相談	1	
からだと健康（保育内容A）	2		保育臨床相談演習		1
仲間と交わり（保育内容B）	2		障害児心理学		2
生活と環境（保育内容C）	2		社会的養護内容演習		1
発達と言葉（保育内容D）	2		家庭支援論		2
感性と表現（保育内容E）	2		障害児保育演習		2
乳幼児の音楽演習Ⅰ		2	相談援助演習Ⅰ		1
乳幼児の音楽演習Ⅱ		2	相談援助演習Ⅱ		1
国語科研究		2	乳幼児の言語表現演習		2
算数科研究		2	教育実習ⅠD		1
生活科研究		2	教育実習ⅡD		4
保育方法論Ⅰ	2		子ども発達学専門演習Ⅰ	4	
保育方法論Ⅱ	2		保育の歴史		2
保育実習ⅠA（保育所）		2	比較保育・教育学		2
保育実習指導ⅠA（保育所）		1	教育福祉論		2
保育実習ⅠB（施設）		2	学童保育論		2
保育実習指導ⅠB（施設）		1	子ども発達学専門演習Ⅱ	4	
児童家庭福祉論Ⅰ		2	保育・教職実践演習（幼）		2
児童家庭福祉論Ⅱ		2			
保育課程論	2				
子どもの食と栄養演習		2			
社会的養護		2			
乳児保育演習		2			
乳幼児の造形演習Ⅰ		2			

子ども発達学科 学校教育専修

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
社会福祉論		2	体育科指導法	2	
教育と発達の心理学A	2		理科指導法	2	
音楽専門研究Ⅰ		2	家庭科指導法	2	
音楽専門研究Ⅱ		2	生活科指導法	2	
国語科研究		2	特別活動方法論A	2	
算数科研究		2	特別活動方法論B		2
社会科研究	2		生徒・進路指導論A	2	
生活科研究		2	生徒・進路指導論B		2
児童家庭福祉論Ⅰ		2	カウンセリング論A		2
児童家庭福祉論Ⅱ		2	カウンセリング論B		2
教職入門A	2		教育実習ⅠA（事前事後）	1	
教職インターンシップⅠ		2	教育実習ⅡA	4	
造形専門研究Ⅰ		2	教育実習ⅠB（事前事後）		1
造形専門研究Ⅱ		2	教育実習ⅡB		4
スポーツ専門研究Ⅰ		2	教育実習ⅢB		2
スポーツ専門研究Ⅱ		2	教職インターンシップⅡ		2
理科研究		2	子ども発達学専門演習Ⅰ		4
家庭科研究		2	教育福祉論		2
道德教育の指導法A	2		学童保育論		2
道德教育の指導法B		2	子ども発達学専門演習Ⅱ		4
国語科指導法	2		教職実践演習（小中）	2	
算数科指導法	2		社会科教育法Ⅰ		2
社会科指導法	2		社会科教育法Ⅱ		2
教育原理A	2		社会科教育法Ⅲ		2
学級担任演習		2	社会科教育法Ⅳ		2
教育制度論A	2		言語教育演習Ⅰ		4
教育相談の基礎と方法A	2		言語教育演習Ⅱ		4
教育相談の基礎と方法B		2	社会認識教育演習Ⅰ		4
教育方法論A	2		社会認識教育演習Ⅱ		4
教育方法論B		2	自然認識教育演習Ⅰ		4
教育課程論A	2		自然認識教育演習Ⅱ		4
教育課程論B		2	芸術教育演習Ⅰ		4

音楽科指導法	2		政治学特講A	2
図画工作指導法	2		政治学特講B	2
スポーツ教育演習Ⅱ		4	芸術教育演習Ⅱ	4
生活指導演習Ⅰ		4	スポーツ教育演習Ⅰ	4
生活指導演習Ⅱ		4	政治学演習Ⅰ	4
社会科教育専門演習Ⅰ		4	政治学演習Ⅱ	4
社会科教育専門演習Ⅱ		4	哲学概論	2
日本史概論		2	哲学演習Ⅰ	4
日本史特講A		2	哲学演習Ⅱ	4
日本史特講B		2	社会学概論	2
日本史演習Ⅰ		4	社会学特講	2
日本史演習Ⅱ		4	社会学演習Ⅰ	4
近現代史		2	社会学演習Ⅱ	4
社会福祉発達史Ⅰ		2	地域社会学	2
社会福祉発達史Ⅱ		2	家族社会学	2
外国史概論		2	経済学概論	2
外国史特講		2	経済学特講	2
地理学概論A（地誌を含む）		2	現代のアジア	2
地理学概論B（地誌を含む）		2		
自然地理学		2		
人文地理学		2		
地誌学		2		
地理学演習A		2		
地理学演習B		2		
地図学演習		2		
法学概論		2		
法学特講		2		
法学演習Ⅰ		4		
法学演習Ⅱ		4		
地方自治論		2		
民法		4		
家族と法		2		
司法福祉論		2		
福祉法学		2		
法と人権		2		
政治学概論		2		

心理臨床学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
心理学統計法		2	肢体不自由児の生理と病理		2
心理学研究法		2	肢体不自由児の心理		2
人格心理学		2	カウンセリング論B		2
教育心理学概論		2	LD・ADHD 児等の心理		2
発達心理学概論		2	子ども発達学専門演習Ⅰ	4	
学校心理臨床論		2	子ども発達学専門演習Ⅱ	4	
特別支援教育論		2	特別支援教育課程論		2
知的障害児の生理と病理		2	知的障害児教育論		2
知的障害児の心理		2	知的障害児指導法		2
精神医学Ⅰ		2	肢体不自由児教育論		2
精神医学Ⅱ		2	肢体不自由児指導法		2
学習心理学		2	聴覚障害児教育論		2
心理学実験・実習		4	聴覚障害児指導法		2
心理データ処理演習		2	重度重複障害児教育論		2
臨床心理学Ⅰ		2	聴覚障害児の心理・生理・病理		2
精神保健		2	重度障害児指導法		2
臨床心理学Ⅱ		2	障害児教育特論		2
心理療法論		2	発達障害児指導法		2
犯罪・非行心理学		2	障害児アセスメント演習		2
産業・組織心理学		2	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）		1
家族心理臨床論		2	障害児教育実習Ⅱ		2
発達心理臨床論		2	インターンシップⅠ		1
社会心理学		2	インターンシップⅡ		2
コミュニティ心理学		2	社会福祉論		2
対人関係論		2	教育福祉論		2
認知・行動療法		2	児童家庭福祉論Ⅰ		2
心理支援実習Ⅰ		2	児童家庭福祉論Ⅱ		2
心理支援実習Ⅱ		2	法学・国際法		2
心理アセスメント演習		2	政治学・国際政治学		2
臨床面接法演習		2	哲学（現代人間論）		2
論文・外書講読		2	倫理学概論		2
動作法		2	死生学		2
多変量解析		2	宗教学概論		2
質的データの解析		2	ジェンダー論		2
病弱児の心理・生理・病理		2			

③自由科目

子ども発達学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	1
インターンシップⅢ	1
インターンシップⅣ	2

心理臨床学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	1
インターンシップⅢ	1
インターンシップⅣ	2

(資格独自科目)

心理臨床学科

授業科目名	自由
教育原理 B	2
教職入門 B	2
教育制度論 B	2
公民科教育法 I	2
公民科教育法 II	2
教育課程論 B	2
教職インターンシップ I	2
教育方法論 B	2
教育相談の基礎と方法 B	2
特別活動方法論 B	2
生徒・進路指導論 B	2
教育実習 IC (事前事後)	1
教育実習ⅢC	2
教職実践演習 (中高)	2
教職インターンシップ II	2

(5) 国際福祉開発学部

①総合基礎科目

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
心理学		2	言語と文化 I-2 (ポルトガル)		1
社会学		2	キャリア英語 I		2
法と社会 (日本国憲法)		4	キャリア英語 II		2
健康・スポーツ		2	キャリア英語 III		2
国際福祉開発の仕事		2			
多文化共生と外国語		2			
英語総合基礎 I		1			
英語総合基礎 II		1			
情報処理演習 I		2			
情報処理演習 II		2			
国際フィールドワーク I		4			
くらしと経済 I		2			
くらしと経済 II		2			
Extensive Reading I		1			
Extensive Reading II		1			
英語コミュニケーション I		1			
英語コミュニケーション II		1			
English Presentation I	2				
English Presentation II	2				
実践英語コミュニケーション I		1			
英語基礎 I		2			
英語基礎 II		2			
キャリアアップ英語 I		2			
グローバル教養		2			
基礎演習 I	2				
基礎演習 II	2				
キャリアアップ英語 II		2			
言語と文化 I-1 (中国)		1			
言語と文化 I-1 (韓国)		1			
言語と文化 I-1 (ポルトガル)		1			
言語と文化 I-2 (中国)		1			
言語と文化 I-2 (韓国)		1			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ-1		1
日本語と文化Ⅰ-2		1
日本語と文化Ⅱ-1		1
日本語と文化Ⅱ-2		1
日本語と文化Ⅲ-1		1
日本語と文化Ⅲ-2		1
日本語と文化Ⅳ-1		1
日本語と文化Ⅳ-2		1
Japan Area Studies I		16
Japan Area Studies II		16

②専門基礎科目

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
国際交流ファシリテーション演習Ⅰ		2	国際交流ファシリテーション演習Ⅴ		1
国際交流ファシリテーション演習Ⅱ		2	国際交流ファシリテーション演習Ⅵ		1
English for TOEICⅠ		1	開発ソーシャルワーク演習Ⅱ		2
English for TOEICⅡ		1	専門演習Ⅰ		2
国際協力		2	専門演習Ⅱ		2
異文化理解		2	実践英語コミュニケーションⅢ		1
環境と開発Ⅰ		2	卒業研究Ⅰ		2
現代福祉		2	卒業研究Ⅱ		2
アジアの経済社会		2			
対面コミュニケーション論		2			
社会調査		2			
国際フィールドワークⅡ		4			
Intensive Reading&Vocabulary BuildingⅠ		2			
Intensive Reading&Vocabulary BuildingⅡ		2			
ニュース英語		2			
English PresentationⅢ		2			
English PresentationⅣ		2			
国際交流ファシリテーション演習Ⅲ		2			
国際交流ファシリテーション演習Ⅳ		2			
English for TOEICⅢ		1			
English for TOEICⅣ		1			
総合演習Ⅰ	2				
総合演習Ⅱ	2				
開発ソーシャルワーク演習Ⅰ		2			
実践英語コミュニケーションⅡ		1			
経営学		4			
ビジネスリテラシー		2			
グローバル企業ケーススタディ		2			
社会企業		2			
ジェンダー論		2			
Intensive Reading&Vocabulary BuildingⅢ		2			
Intensive Reading&Vocabulary BuildingⅣ		2			
English PresentationⅤ		2			
English PresentationⅥ		2			

③専門科目

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
コーチング論		2	Content-based Reading I		2
メディアデザイン		2	Content-based Reading II		2
英語学概論		2	Global Educational Resources		2
英語学演習		2	英語科教育法Ⅲ		2
英語音声学		2	英語科教育法Ⅳ		2
英語総合コミュニケーションⅠ		2	地域福祉論		4
英語総合コミュニケーションⅡ		2	福祉経営論Ⅰ		2
観光英語		2	福祉経営論Ⅱ		2
情報管理概論		2	NPO/NGO論		2
福祉社会開発		4	参加型のまちづくり		2
英語科教育法Ⅰ		2	持続可能性教育		2
英語科教育法Ⅱ		2	開発人類学		2
国際開発と障害学		4	国際福祉開発		2
国際フィールドワークⅢ		2	卒業論文		2
国際フィールドワークⅣ		2			
環境と開発Ⅱ		2			
国際保健		2			
日本語教授法入門		2			
国際フィールドワークⅤ		8			
国際フィールドワークⅥ		8			
インターンシップⅠ		1			
インターンシップⅡ		2			
インターンシップⅢ		1			
インターンシップⅣ		2			
国際協働インターンシップⅠ		2			
国際協働インターンシップⅡ		2			
ネットワークデザイン		2			
英語デジタルコンテンツ		2			
英米文学史		2			
英米文学講義Ⅰ		2			
英米文学講義Ⅱ		2			
比較文化論		2			
英語総合コミュニケーションⅢ		2			
英語総合コミュニケーションⅣ		2			

④自由科目

国際福祉開発学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

授業科目名	自由
教職入門B	2
教育原理B	2
教育心理学概論	2
発達心理学概論	2
教育制度論B	2
教育課程論B	2
道德教育の指導法B	2
特別活動方法論B	2
教育方法論B	2
生徒・進路指導論B	2
カウンセリング論B	2
教育相談の基礎と方法B	2
教育実習ⅠB	1
教育実習ⅡB	2
教育実習ⅢB	2
教職実践演習	2

(6) 看護学部

①総合基礎科目

看護学科

授業科目名	必修	選択
英語コミュニケーションⅠ	1	
英語コミュニケーションⅡ	1	
英語コミュニケーションⅢ	1	
英語コミュニケーションⅣ	1	
基礎ゼミナールⅠ	1	
基礎ゼミナールⅡ	1	
化学	2	
情報処理演習		2
健康・スポーツ		1
日本の歴史		4
心理学		2
政治学		2
哲学		2
グローバル教養		2
異文化理解		2
法と社会（日本国憲法）		4
社会学		2

②専門基礎科目

看護学科

授業科目名	必修	選択
人間の形態と機能Ⅰ	2	
人間の形態と機能Ⅱ	1	
生化学	1	
微生物学	1	
人間工学	1	
ストレス心理学	1	
人間関係論	1	
病理学	1	
疾病論（内科系）	2	
疾病論（外科系）	2	
疾病論（小児系）	1	
疾病論（母性系）	1	
疾病論（精神系）	1	
臨床薬理学	1	
臨床検査学	1	
臨床栄養学	1	
健康管理学	2	
保健行動論	2	
公衆衛生学	2	
社会福祉学	2	
家族社会学	2	
疫学	2	
保健医療福祉政策論	2	
保健医療統計学	1	

③専門科目

看護学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
看護学概論 (概念・理論・歴史)	2		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	
看護管理概論	2		看護学研究方法論	1	
看護倫理	1		卒業研究Ⅰ	1	
災害看護	1		卒業研究Ⅱ	1	
看護過程演習	1		看護統合実習	2	
看護技術演習Ⅰ	2		多職種連携論	1	
看護技術演習Ⅱ	2		看護感染論		2
看護技術演習Ⅲ	1		看護教育論		2
基礎看護学実習Ⅰ	1		緩和ケア論		2
基礎看護学実習Ⅱ	2		リハビリテーション看護論		2
成人看護学概論	2		国際看護論		2
成人慢性期看護方法論	2		家族看護論		2
成人急性期看護方法論	2		統合看護基礎技術演習		1
老年看護学概論	2		チーム医療連携演習		1
老年看護学方法論	2		国際保健演習		1
小児看護学概論	2		公衆衛生看護方法論Ⅱ		2
小児看護学方法論	2		公衆衛生看護方法論Ⅲ		2
母性看護学概論	2		公衆衛生看護管理活動論		2
母性看護学方法論	2		公衆衛生看護学実習Ⅰ		3
精神看護学概論	2		公衆衛生看護学実習Ⅱ		2
精神看護学方法論	2				
成人看護学慢性期実習	3				
成人看護学急性期実習	3				
老年看護学実習Ⅰ	1				
老年看護学実習Ⅱ	1				
老年看護学実習Ⅲ	2				
小児看護学実習	2				
母性看護学実習	2				
精神看護学実習	2				
在宅看護論	2				
在宅看護学方法論	2				
在宅看護学実習	2				
公衆衛生看護学概論	2				

(7) スポーツ科学部

①総合基礎科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択
経営学		2
統計学		2
社会学		2
哲学		2
キャリア開発 I		2
日本国憲法		2
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1	
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1	
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1
情報処理演習 I	2	
情報処理演習 II		2
海外フィールドワーク		4
スポーツ実技	2	
政治学		2
キャリア開発 II		2
スポーツイングリッシュ I		1
経済学		2
スポーツイングリッシュ II		1
生命と環境		2

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ－1		1
日本語と文化Ⅰ－2		1
日本語と文化Ⅱ－1		1
日本語と文化Ⅱ－2		1
日本語と文化Ⅲ－1		1
日本語と文化Ⅲ－2		1
日本語と文化Ⅳ－1		1
日本語と文化Ⅳ－2		1

② 専門科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
生理学		2	地域スポーツ論		2
スポーツ科学入門	2		武道論		2
スポーツ史		2	スポーツジェンダー論		2
スポーツ文化論		2	スポーツ医学B（外科系）		2
スポーツビジネス		2	トレーニング科学	2	
発育発達論（運動発達・認識発達・ことばの発達）		2	測定・評価		2
機能解剖学		2	メンタルトレーニング		2
認知心理学		2	知的障害児教育論		2
健康管理概論		2	スポーツ科学演習	2	
学校保健A（小児・精神）		2	スポーツコミュニケーション		2
野外スポーツ論		2	スポーツメディア論		2
スポーツ社会学	2		衛生・公衆衛生学		2
ふくしスポーツ論	2		学校保健B（学校・救急処置）		2
スポーツ哲学	2		肢体不自由児の心理		2
スポーツマネジメント		2	肢体不自由児の生理と病理		2
スポーツ教育学		2	障害者スポーツ指導法演習A		1
スポーツキャリア教育		2	ふくしスポーツ演習		4
スポーツ統計学		2	スポーツ政策・行政論		2
スポーツと脳		2	スポーツ法学		2
スポーツ生理学	2		アスレティックリハビリテーション		2
スポーツ心理学		2	加齢学		2
障害者スポーツ論	2		肢体不自由児指導法		2
スポーツ倫理学		2	障害者スポーツ指導法演習B		1
スポーツ支援者論		2	コンディショニング演習		2
身体表現・芸術表現論		2	スポーツフィールドワークⅡ-1		2
スポーツ・運動指導者論		2	スポーツフィールドワークⅡ-2		2
スポーツ医学A（内科系）		2	専門実技（ダンス）		1
スポーツ栄養学		2	専門実技（野外運動A）		1
コーチング科学		2	専門実技（陸上）		1
特別支援教育論		2	専門実技（バスケットボール）		1
肢体不自由児教育論		2	専門実技（器械運動）		1
スポーツバイオメカニクス		2	専門実技（水泳）		1
スポーツ人類学		2	専門実技（バレーボール）		1

専門実技（柔道）		1
専門実技（アダプテッド・スポーツ）		1
専門実技（サッカー）		1
専門実技（バドミントン）		1
専門実技（野外運動B）		1
専門実技（野外運動C）		1
専門実技（ソフトボール）		1
専門実技（テニス）		1
専門実技（卓球）		1
専門実技（剣道）		1
スポーツ指導法演習（陸上）		1
スポーツ指導法演習（バスケットボール）		1
スポーツ指導法演習（水泳・水中運動）		1
スポーツ指導法演習（ダンス）		1
スポーツ指導法演習（バレーボール）		1
スポーツ指導法演習（サッカー）		1
スポーツ指導法演習（テニス）		1
スポーツ指導法演習（バドミントン）		1
スポーツ指導法演習（卓球）		1
スポーツ指導法演習（ゴルフ）		1
スポーツ指導法演習（エアロビクス）		1
スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツ）		1
保健体育科教育法Ⅰ（授業づくりの基礎理論）		2
保健体育科教育法Ⅱ-A（陸上・器械運動）		2
保健体育科教育法Ⅱ-B（球技・水泳）		2
保健体育科教育法Ⅱ-C（武道）		2
保健体育科教育法Ⅱ-D（ダンス・体育理論）		2
保健体育科教育法Ⅲ（授業づくり）		2
導入ゼミ	2	
スポーツフィールドワークⅠ	2	
専門演習Ⅰ	2	
専門演習Ⅱ	4	

③ 自由科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択
教職入門 B		2
知的障害児の心理		2
視覚・聴覚・病弱児論		2
教育原理 B		2
教育と発達心理学 B		2
教育制度論 B		2
教育課程論 B		2
教育相談の基礎と方法 B		2
知的障害児の生理と病理		2
道徳教育の指導法 B		2
教育方法論 B		2
知的障害児指導法		2
生徒・進路指導論 B		2
発達障害児論		2
特別支援教育課程論		2
特別活動方法論 B		2
教育実習 I B (事前事後)		1
教育実習 II B		4
教育実習 III B		2
障害児教育実習 I (事前事後)		1
障害児教育実習 II		2
教職実践演習 (中高)		2
健康運動特論 I		2
健康運動特論 II		2
ビジネススキル		2
インターンシップ I		1
インターンシップ II		2

(8) 全学教育センター科目

授業科目名	必修	選択
日本福祉大学の歴史		2
知多学		2
ふくしとフィールドワーク		2
知多半島のふくし		2
ふくしと減災コミュニティ		2
ふくしとフィールドワーク実践		2
こころとからだ		2
福祉社会入門		2
視覚障害者支援論		2
聴覚障害者の理解と支援		1
ろう文化と手話		2
法入門		2
地震と減災社会		2
福祉の力		2
コミュニケーション力演習		2
文章作成力演習		2
国内留学フィールド・スタディⅠ		1
国内留学フィールド・スタディⅡ		1
国内留学フィールド・スタディⅢ		1

(9) 資格関係科目

教職に関する科目

社会福祉学部社会福祉学科、経済学部経済学科、国際福祉開発学部国際福祉開発学科

授業科目名	社会福祉学部	経済学部	国際福祉開発学部	スポーツ科学部
	社会福祉学科	経済学科	国際福祉開発学科	スポーツ科学科
	単位数	単位数	単位数	単位数
教職入門 B	2	2	2	2
教育原理 B	2	2	2	2
教育心理学概論	2	2	2	
発達心理学概論	2	2	2	
教育と発達の心理学 B				2
教育制度論 B	2	2	2	2
教育課程論 B	2	2	2	2
道徳教育の指導法 B	2	2	2	2
特別活動方法論 B	2	2	2	2
教育方法論 B	2	2	2	2
生徒・進路指導論 B	2	2	2	2
カウンセリング論 B	2	2	2	
教育相談の基礎と方法 B	2	2	2	2
社会科教育法 I	2	2		
社会科教育法 II	2	2		
社会科教育法 III	2	2		
社会科教育法 IV	2	2		
公民科教育法 I	2	2		
公民科教育法 II	2	2		
地歴科教育法 I		2		
地歴科教育法 II		2		
福祉科教育法 I	2			
福祉科教育法 II	2			
英語科教育法 I			(2)	
英語科教育法 II			(2)	
英語科教育法 III			(2)	
英語科教育法 IV			(2)	
保健体育科教育法 I (授業づくりの基礎理論)				(2)
保健体育科教育法 II-A (陸上・器械運動)				(2)
保健体育科教育法 II-B (球技・水泳)				(2)

保健体育科教育法Ⅱ-C (武道)				(2)
保健体育科教育法Ⅱ-D (ダンス・体育理論)				(2)
保健保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり)				(2)
教育実習ⅠB (事前事後)	1	1	1	2
教育実習ⅡB	4	4	4	2
教育実習ⅢB	2	2	2	2
教職実践演習 (中高)	2	2	2	2

* 単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

子ども発達学部子ども発達学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
教職入門A	(2)	教育相談の基礎と方法A	(2)
教育と発達心理学A	(2)	教育相談の基礎と方法B	(2)
教育と発達心理学C	(2)	保育臨床相談	(1)
教育原理A	(2)	保育臨床相談演習	(1)
教育原理C	(2)	保育職論	(2)
保育原理Ⅰ	(2)	保育課程論	(2)
保育原理Ⅱ	(2)	特別活動方法論A	(2)
教育制度論A	(2)	特別活動方法論B	(2)
教育制度論C	(2)	からだと健康(保育内容A)	(2)
教育課程論A	(2)	仲間と交わり(保育内容B)	(2)
教育課程論B	(2)	生活と環境(保育内容C)	(2)
理科指導法	(2)	発達と言葉(保育内容D)	(2)
社会科指導法	(2)	感性と表現(保育内容E)	(2)
国語科指導法	(2)	社会科教育法Ⅰ	(2)
算数科指導法	(2)	社会科教育法Ⅱ	(2)
体育科指導法	(2)	社会科教育法Ⅲ	(2)
図画工作指導法	(2)	社会科教育法Ⅳ	(2)
音楽科指導法	(2)	教育実習ⅠA(事前事後)	(1)
生活科指導法	(2)	教育実習ⅡA	(4)
家庭科指導法	(2)	教育実習ⅠB(事前事後)	(1)
道德教育の指導法A	(2)	教育実習ⅡB	(4)
道德教育の指導法B	(2)	教育実習ⅢB	(2)
教育方法論A	(2)	教育実習ⅠD(事前事後)	(1)
教育方法論B	(2)	教育実習ⅡD	(4)
保育方法論Ⅰ	(2)	保育・教職実践演習(幼)	(2)
保育方法論Ⅱ	(2)	教職実践演習(小中)	(2)
保育内容演習	(2)		
生徒・進路指導論A	(2)		
生徒・進路指導論B	(2)		
カウンセリング論A	(2)		
カウンセリング論B	(2)		

*単位数に()表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

子ども発達学部心理臨床学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
教職入門B	2	カウンセリング論B	(2)
教育原理B	2	教育相談の基礎と方法B	2
教育心理学概論	(2)	特別活動方法論B	2
発達心理学概論	(2)	教育実習ⅠC（事前事後）	1
教育制度論B	2	教育実習ⅢC	2
教育課程論B	2	公民科教育法Ⅰ	2
教育方法論B	2	公民科教育法Ⅱ	2
生徒・進路指導論B	2	教職実践演習（中高）	2

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

教科に関する科目

社会福祉学部社会福祉学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
日本史	(2)	家族社会学	(2)
外国史	(2)	社会福祉入門	(2)
社会福祉発達史Ⅰ	(2)	ライフデザイン入門	(2)
社会福祉発達史Ⅱ	(2)	スクールソーシャルワーク論	(2)
地理学（地誌を含む）	(4)	高齢者福祉論Ⅰ	(2)
福祉法学	(2)	高齢者福祉論Ⅱ	(2)
地方自治論	(2)	児童・家庭福祉論	(2)
社会学	(2)	障害者福祉論	(2)
経済学	(2)	ソーシャルワークⅠ	(2)
福祉行財政論	(2)	ソーシャルワークⅡ	(2)
政治学	(2)	ソーシャルワークⅢ	(2)
哲学	(2)	ソーシャルワークⅣ	(2)
心理学	(2)	介護福祉論	(2)
宗教学	(2)	ソーシャルワーク実習	(4)
社会福祉原論Ⅰ	(2)	社会福祉援助技術現場実習（教職）	(2)
社会福祉原論Ⅱ	(2)	医学概論	(2)
社会福祉方法原論Ⅰ	(2)	障害者心理学	(2)
社会福祉方法原論Ⅱ	(2)	老年心理学	(2)
地域社会学	(2)		

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門科目として設置されていることを示す。

経済学部経済学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
日本の歴史	(4)	財政学	(4)
日本史特講	(2)	国際経済	(4)
外国の歴史	(4)	社会学	(2)
外国史特講	(2)	哲学	(2)
地理学（地誌を含む）	(4)	人文地理学	(2)
法律学	(4)	自然地理学	(2)
法と人権	(2)	現代のアジア	(2)
経済学	(4)	アジア経済論	(2)
マクロ経済学	(4)	地域経済論	(4)
環境経済学	(4)	宗教学	(2)
労働経済学	(4)	政治学	(2)
厚生経済学	(2)	ミクロ経済学	(4)

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目、あるいは専門科目として設置されていることを示す。

子ども発達学部 子ども発達学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
音楽専門研究Ⅰ	(2)	地理学演習A	(2)
音楽専門研究Ⅱ	(2)	地理学演習B	(2)
乳幼児の音楽演習Ⅰ	(2)	地図学演習	(2)
乳幼児の音楽演習Ⅱ	(2)	法学概論	(2)
造形専門研究Ⅰ	(2)	法学特講	(2)
造形専門研究Ⅱ	(2)	地方自治論	(4)
乳幼児の造形演習Ⅰ	(2)	民法	(2)
乳幼児の造形演習Ⅱ	(2)	家族と法	(2)
スポーツ専門研究Ⅰ	(2)	司法福祉論	(2)
スポーツ専門研究Ⅱ	(2)	福祉法学	(2)
乳幼児の体育演習Ⅰ	(2)	法と人権	(2)
乳幼児の体育演習Ⅱ	(2)	政治学概論	(2)
乳幼児の言語表現演習	(2)	政治学特講A	(2)
国語科研究	(2)	政治学特講B	(2)
算数科研究	(2)	社会学概論	(2)
理科研究	(2)	社会学特講	(2)
社会科研究	(2)	地域社会学	(2)
生活科研究	(2)	家族社会学	(2)
家庭科研究	(2)	経済学概論	(2)
日本史概論	(2)	経済学特講	(2)
日本史特講A	(2)	現代のアジア	(2)
日本史特講B	(2)		
近現代史	(2)		
社会福祉発達史Ⅰ	(2)		
社会福祉発達史Ⅱ	(2)		
外国史概論	(2)		
外国史特講	(2)		
地理学概論A (地誌を含む)	(2)		
地理学概論B (地誌を含む)	(2)		
自然地理学	(2)		
人文地理学	(2)		
地誌学	(2)		

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

子ども発達学部心理臨床学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
法学・国際法	(2)	倫理学概論	(2)
哲学（現代人間論）	(2)	死生学	(2)
ジェンダー論	(2)	コミュニティ心理学	(2)
政治学・国際政治学	(2)	社会心理学	(2)
宗教学概論	(2)	犯罪・非行心理学	(2)

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは専門科目として設置されていることを示す。

国際福祉開発学部国際福祉開発学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
英語総合基礎Ⅱ	(1)	英語学演習	(2)
国際フィールドワークⅠ	(4)	英語音声学	(2)
異文化理解	(2)	英語総合コミュニケーションⅠ	(2)
多文化共生と外国語	(2)	英語総合コミュニケーションⅡ	(2)
国際フィールドワークⅡ	(4)	比較文化論	(2)
IntensiveReading&VocabularyBuildingⅢ	(2)	英米文学史	(2)
IntensiveReading&VocabularyBuildingⅣ	(2)	英米文学講義Ⅰ	(2)
英語学概論	(2)	英米文学講義Ⅱ	(2)

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは専門科目として設置されていることを示す。

スポーツ科学部スポーツ科学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
生理学	(2)	スポーツバイオメカニクス	(2)
スポーツ史	(2)	衛生・公衆衛生学	(2)
学校保健A（小児・精神）	(2)	学校保健B（学校・救急処置）	(2)
スポーツ社会学	(2)	専門実技（ダンス）	(1)
スポーツ哲学	(2)	専門実技（野外運動A）	(1)
スポーツマネジメント	(2)	専門実技（陸上競技）	(1)
スポーツ生理学	(2)	専門実技（バスケットボール）	(1)
スポーツ心理学	(2)	専門実技（器械運動）	(1)

専門実技（水泳）	(1)
専門実技（バレーボール）	(1)
専門実技（柔道）	(1)
専門実技（アダプテッド・スポーツ）	(1)
専門実技（サッカー）	(1)
専門実技（バドミントン）	(1)
専門実技（ソフトボール）	(1)
専門実技（剣道）	(1)

* 単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは専門科目として設置されていることを示す。

教科又は教職に関する科目

子ども発達学部子ども発達学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
教職インターンシップⅠ	(2)	児童家庭福祉論Ⅱ	(2)
教職インターンシップⅡ	(2)	社会福祉論	(2)
児童家庭福祉論Ⅰ	(2)	教育福祉論	(2)

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

*教職インターンシップⅠ・Ⅱは、幼稚園教員免許取得の場合は対象とならない。

子ども発達学部心理臨床学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
教職インターンシップⅠ	2	児童家庭福祉論Ⅱ	(2)
教職インターンシップⅡ	2	社会福祉論	(2)
児童家庭福祉論Ⅰ	(2)	教育福祉論	(2)

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

高等学校一種免許状を置く学部学科

授業科目名	単位数
道徳教育の指導法	2

経済学部経済学科

授業科目名	単位数
総合演習Ⅰ	2

国際福祉開発学部国際福祉開発学科

授業科目名	単位数
国際協働インターンシップⅠ	2
国際協働インターンシップⅡ	2

保育士資格関係科目

社会福祉学部社会福祉学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
心理学	(2)	保育内容E (感性と表現)	1
情報処理演習 I	(2)	乳児保育演習	2
情報処理演習 II	(2)	障害児保育演習	2
フレッシュマン・イングリッシュ I-1	(1)	社会的養護内容演習	1
フレッシュマン・イングリッシュ I-2	(1)	音楽演習	1
スポーツ	(2)	造形演習	1
健康スポーツ論	(2)	身体表現演習	1
保育原理 I	(2)	言語表現演習	1
保育原理 II	(2)	保育実習 I-A	2
初等教育原理	2	保育実習 I-B	2
児童・家庭福祉論	(2)	保育実習指導 I-A	1
社会福祉原論 I	(2)	保育実習指導 I-B	1
ソーシャルワーク演習 I	(1)	保育実践演習	2
ソーシャルワーク演習 II	(1)	施設福祉論	(2)
ソーシャルワーク演習 III	(2)	教育福祉論	2
ソーシャルワーク演習 IV	(1)	臨床心理学	(2)
社会的養護	(2)	障害児心理学	(2)
保育職論	2	就労支援	(1)
教育と発達の心理学	2	保育方法論 I	2
保育心理学演習	1	保育方法論 II	2
子どもの保健 A	2	学童保育論	(2)
子どもの保健 B	2	保育実習 II (保育所)	2
子どもの保健演習	1	保育実習 III (施設)	2
子どもの食と栄養演習	2	保育実習指導 II (保育所)	1
家庭支援論	2	保育実習指導 III (施設)	1
保育課程論	2		
保育内容総論	1		
保育内容 A (からだと健康)	1		
保育内容 B (仲間と交わり)	1		
保育内容 C (生活と環境)	1		
保育内容 D (発達と言葉)	1		

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

子ども発達学部 子ども発達学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
スポーツと文化	(2)	児童家庭福祉論Ⅰ	(2)
スポーツ実技	(2)	児童家庭福祉論Ⅱ	(2)
フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	(1)	保育課程論	(2)
フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	(1)	子どもの食と栄養演習	(2)
日本国憲法	(2)	社会的養護	(2)
情報処理演習Ⅰ	(2)	乳児保育演習	(2)
情報処理演習Ⅱ	(2)	乳幼児の造形演習Ⅰ	(2)
社会福祉論	(2)	乳幼児の造形演習Ⅱ	(2)
教育と発達の心理学C	(2)	乳幼児の体育演習Ⅰ	(2)
保育心理学演習	(1)	乳幼児の体育演習Ⅱ	(2)
保育職論	(2)	教育原理C	(2)
保育原理Ⅰ	(2)	保育実習Ⅱ（保育所）	(2)
保育原理Ⅱ	(2)	保育実習指導Ⅱ（保育所）	(1)
子どもの保健A	(2)	保育実習Ⅲ（施設）	(2)
子どもの保健B	(2)	保育実習指導Ⅲ（施設）	(1)
子どもの保健演習	(1)	保育臨床相談演習	(1)
保育内容演習	(2)	社会的養護内容演習	(1)
からだと健康（保育内容A）	(2)	家庭支援論	(2)
仲間と交わり（保育内容B）	(2)	障害児保育演習	(2)
生活と環境（保育内容C）	(2)	相談援助演習Ⅰ	(1)
発達と言葉（保育内容D）	(2)	相談援助演習Ⅱ	(1)
感性と表現（保育内容E）	(2)	乳幼児の言語表現演習	(2)
乳幼児の音楽演習Ⅰ	(2)	保育の歴史	(2)
乳幼児の音楽演習Ⅱ	(2)	教育福祉論	(2)
保育方法論Ⅰ	(2)	障害者論	(2)
保育方法論Ⅱ	(2)	保育・教職実践演習（幼）	(2)
保育実習ⅠA（保育所）	(2)		
保育実習指導ⅠA（保育所）	(1)		
保育実習ⅠB（施設）	(2)		
保育実習指導ⅠB（施設）	(1)		

*単位数に（）表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

社会福祉士国家試験受験資格に関する科目

健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
心理学	(2)	就労支援サービス論	(1)
社会学	(2)	権利擁護と成年後見制度	(2)
社会福祉原論Ⅰ	(2)	更生保護制度	(1)
社会福祉原論Ⅱ	(2)	相談援助実習指導Ⅰ	(1)
介護福祉論Ⅰ	(2)	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	(2)
医学一般Ⅰ (からだのしくみ)	(2)	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	(2)
社会調査法	(2)	相談援助の理論と方法Ⅰ	(2)
高齢者福祉論	(2)	相談援助の理論と方法Ⅱ	(2)
障害者福祉論	(2)	相談援助の理論と方法Ⅲ	(2)
児童・家庭福祉論	(2)	相談援助の理論と方法Ⅳ	(2)
地域福祉論Ⅰ	(2)	相談援助演習Ⅰ	(2)
地域福祉論Ⅱ	(2)	相談援助演習Ⅱ	(2)
低所得者福祉論	(2)	相談援助演習Ⅲ	(1)
社会保障論Ⅰ	(2)	相談援助実習指導Ⅱ	(1)
社会保障論Ⅱ	(2)	相談援助実習指導Ⅲ	(1)
福祉行財政・計画論	(2)	相談援助実習指導Ⅳ	(1)
福祉サービス組織論	(2)	相談援助実習A・B	(4)
保健医療サービス論	(2)		

* 単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

健康科学部福祉工学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
心理学	(2)	就労支援サービス論	(1)
社会学	(2)	権利擁護と成年後見制度	(2)
社会福祉原論Ⅰ	(2)	更生保護制度	1
社会福祉原論Ⅱ	2	相談援助実習指導Ⅰ	1
介護福祉論	(2)	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2
医学一般Ⅰ (からだのしくみ)	(2)	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2
社会調査法	(2)	相談援助の理論と方法Ⅰ	2
高齢者福祉論	(2)	相談援助の理論と方法Ⅱ	2
障害者福祉論	(2)	相談援助の理論と方法Ⅲ	2
児童・家庭福祉論	2	相談援助の理論と方法Ⅳ	2
地域福祉論Ⅰ	(2)	相談援助演習Ⅰ	2
地域福祉論Ⅱ	2	相談援助演習Ⅱ	2
低所得者福祉論	(2)	相談援助演習Ⅲ	1
社会保障論Ⅰ	(2)	相談援助実習指導Ⅱ	1
社会保障論Ⅱ	2	相談援助実習指導Ⅲ	1
福祉行財政・計画論	2	相談援助実習指導Ⅳ	1
福祉サービス組織論	(2)	相談援助実習A・B	4
保健医療サービス論	2		

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目、専門基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

特別支援教育に関する科目

子ども発達学部心理臨床学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
特別支援教育論	(2)	肢体不自由児教育論	(2)
知的障害児の生理と病理	(2)	知的障害児指導法	(2)
知的障害児の心理	(2)	肢体不自由児指導法	(2)
肢体不自由児の生理と病理	(2)	聴覚障害児指導法	(2)
肢体不自由児の心理	(2)	重度障害児指導法	(2)
LD・ADHD児等の心理	(2)	障害児教育実習Ⅰ	(1)
知的障害児教育論	(2)	障害児教育実習Ⅱ	(2)

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

スポーツ科学部スポーツ科学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
特別支援教育論	(2)	視覚・聴覚・病弱児論	2
肢体不自由児教育論	(2)	知的障害児の生理と病理	2
知的障害児教育論	(2)	知的障害児指導法	2
肢体不自由児の心理	(2)	発達障害児論	2
肢体不自由児の生理と病理	(2)	特別支援教育課程論	2
肢体不自由児指導法	(2)	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）	1
知的障害児の心理	2	障害児教育実習Ⅱ	2

*単位数に () 表示されている科目は学科の総合基礎科目あるいは、専門科目として設置されていることを示す。

スクールソーシャルワークに関する科目

社会福祉学部社会福祉学科

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
スクールソーシャルワーク論	(2)	教育相談の基礎と方法B	2
スクールソーシャルワーク演習	1	生徒・進路指導論B	2
スクールソーシャルワーク実習指導	1	児童・家庭福祉論	(2)
スクールソーシャルワーク実習	2	精神保健学 I	(2)
教職入門B	2	社会福祉基礎演習	(4)
教育制度論B	2	福祉教育論	(1)
教育心理学概論	2		

*単位数に () 表示されている科目は学科の専門科目として設置されていることを示す。

(10) 幼稚園免許取得に関する特例科目

子ども発達学部子ども発達学科

授業科目名	単位数
教職入門（特例）	2
教育制度論（特例）	2
保育課程論（特例）	1
保育内容と方法（特例）	2
幼児理解の理論と方法（特例）	1

(11) 保育士資格取得に関する特例科目

社会福祉学部社会福祉学科

授業科目名	単位数
福祉と養護	2
相談支援	2
保健と食と栄養	2
乳児保育	2

別表2

大学入試センター利用入学試験の検定料	15,000円
同日同種の入学試験で併願が認められている場合に、1追加出願するための検定料	10,000円
A0入学試験	
第1次選考検定料	10,000円
第2次選考検定料	25,000円
上記以外の入学試験の検定料	35,000円
転籍試験（転学部）の検定料	20,000円
転籍試験（転科・転専攻・転専修）の検定料	10,000円

別表3

	入学金 (入学時のみ)	授業料 (年額)	施設維持費 (年額)	実験実習費 (年額)	備考
社会福祉学部 社会福祉学科	200,000円	835,000円	190,000円	—	
経済学部 経済学科	200,000円	835,000円	200,000円	—	
健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	200,000円	965,000円	395,000円	210,000円	
健康科学部 リハビリテーション学科 介護学専攻	200,000円	965,000円	210,000円	—	介護実習費は学費に含む。
健康科学部 福祉工学科	200,000円	965,000円	210,000円	—	
子ども発達学部 子ども発達学科	200,000円	835,000円	190,000円	—	
子ども発達学部 心理臨床学科	200,000円	835,000円	190,000円	—	
国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	200,000円	835,000円	200,000円	—	

看護学部 看護学科	200,000 円	965,000 円	400,000 円	285,000 円	
スポーツ科学部 スポーツ科学科	200,000 円	850,000 円	360,000 円		

別表 4

学部等	資格課程	課程登録費
社会福祉学部 社会福祉学科	中学校（社会）、高等学校（公民）、高等学校（福祉）教諭免許状	37,000 円
	中学校（社会）、高等学校（公民）、特別支援学校教諭免許状	57,000 円
	スクールソーシャルワーカー受験資格	20,000 円
	保育課程	30,000 円
経済学部 経済学科	中学校（社会）、高等学校（公民）、高等学校（地歴）教諭免許状	37,000 円
	スポーツプログラマー・アシスタントマネジャー	1,800 円
健康科学部 福祉工学科	社会福祉士国家試験受験資格	1,800 円
健康科学部 リハビリテーション学科 介護学専攻	社会福祉士国家試験受験資格	1,800 円
子ども発達学部 子ども発達学科	特別支援学校教諭免許状	20,000 円
子ども発達学部 心理臨床学科	中学校（社会）、高等学校（公民）教諭免許状	37,000 円
	中学校（社会）、高等学校（公民）、特別支援学校教諭免許状	57,000 円
国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	中学校（英語）、高等学校（英語）教諭免許状	37,000 円
スポーツ科学部 スポーツ科学科	中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）教諭免許状	37,000 円
	中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）、特別支援学校教諭免許状	57,000 円

別表 5

学部等	科目名	実習費
社会福祉学部 社会福祉学科	ソーシャルワーク実習基礎指導	1,800円
	ソーシャルワーク実習	100,000円
	精神保健福祉援助実習	125,000円
	医療福祉実習	30,400円
	ソーシャルワーク専門実習	30,400円
	教育実習ⅡB・ⅢB*	※
	障害児教育実習	※
	社会福祉援助技術 現場実習(教職)	30,400円
	保育実習Ⅰ-A	12,000円
	保育実習Ⅰ-B	20,000円
	保育実習Ⅱ	12,000円
	保育実習Ⅲ	20,000円
	海外フィールドワーク** (オーストラリア)	400,000円
(インド)	300,000円	
(フィリピン)	320,000円	
経済学部 経済学科	教育実習ⅡB・ⅢB*	※
	海外事情研究** (オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
海外フィールドワークⅢ** (フィリピン)	320,000円	
福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科	海外事情研究** (オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
	海外フィールドワークⅢ** (フィリピン)	320,000円
健康科学部 福祉工学科、 健康科学部 リハビリテーション学科 介護学専攻	相談援助実習指導Ⅰ	1,800円
	相談援助実習指導Ⅱ	
	相談援助実習指導Ⅲ	
	相談援助実習指導Ⅳ	
	相談援助実習A・B	60,800円

健康科学部 福祉工学科	国際理解**	
	(オーストラリア)	400,000 円
	(インド)	300,000 円
	(フィリピン)	320,000 円
子ども発達学部 子ども発達学科	教育実習ⅡA、教育実習ⅡB、 教育実習ⅡD、教育実習ⅢB*	※
	保育実習ⅠA	12,000 円
	保育実習ⅠB	20,000 円
	保育実習Ⅱ	12,000 円
	保育実習Ⅲ	20,000 円
	海外フィールドワーク**	
(オーストラリア)	400,000 円	
(インド)	300,000 円	
(フィリピン)	320,000 円	
子ども発達学部 心理臨床学科	教育実習ⅢC*	※
	障害児教育実習Ⅱ	※
	海外フィールドワーク**	
(オーストラリア)	400,000 円	
(インド)	300,000 円	
(フィリピン)	320,000 円	
国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	教育実習ⅡB・ⅢB*	※
	国際フィールドワークⅠ・Ⅱ**	
	(オーストラリア)	400,000 円
	(インド)	300,000 円
	(フィリピン)	320,000 円
	(マレーシア)	280,000 円
(カンボジア)	250,000 円	
(アメリカ)	330,000 円	
スポーツ科学部 スポーツ科学科	教育実習ⅡB、ⅢB*	※
	障害児教育実習Ⅱ	※
	海外フィールドワーク**	
	(オーストラリア)	400,000 円
	(インド)	300,000 円
(フィリピン)	320,000 円	

* 教育実習を小学校あるいは中学校で行う場合、上記の他に愛知県社会福祉協議会が

定める介護等体験費用（8,000円程度）を徴収する。

※※外国為替や航空運賃等の変動を踏まえて、毎年、最終確定額を公示する。

※教育実習費は実習受入先学校により異なる。平均額は12,000円。

別表6

入学検定料	9,000円
入学料	16,500円
研究料（年額）	38,500円

別表7

入学検定料	10,000円	
入学金	20,000円	
履修料	講義	1単位につき10,000円
	教育実習	1単位につき11,000円
	障害児教育実習	1単位につき11,000円
	総合演習 I （教職課程開講科目）	1単位につき10,000円
	高等学校福祉科 社会福祉援助技術現場実習 （教職課程開講科目）	1単位につき15,000円
	保育実習	1単位につき10,000円
	演習 （保育課程開講科目）	1単位につき10,000円

別表8

入学検定料	9,000円
入学料	16,500円
聴講料 （1単位）	（講義） 5,500円

別表9

在籍料（1学期につき）	10,000円
-------------	---------

別表10

入学検定料	10,000円	
入学金・継続料	10,000円	
特例科目登録料	1年につき15,000円	
特例科目履修料	単位履修料	1単位につき5,400円
	スクーリング履修料	1科目につき5,000円

日本福祉大学学部教授会運営規程

(趣旨)

第1条 学部教授会に関する事項は、この規程に定めるところによる。

(構成)

第2条 学部教授会は、当該学部に所属する普通任用の教授、准教授、助教2及び助教3をもって構成する。

2 特別任用教授は、種別に応じ次のとおりとする。

(1) 一般特任教授は、所属する学部の学部教授会構成員とする。

(2) 大学院特任教授は、所属する大学院研究科・専攻の研究科委員会・専攻会議構成員とする。また、必要に応じて所属する学部の学部教授会構成員とすることができる。

3 助教1及び助教4並びに招聘教員Aは、教授会に参加することができる。ただし、構成員とすることはできない。

(組織・役職者)

第3条 学部長を補佐するために、学部長補佐のほか、学科長、専攻長、専修長を置くことができる。

2 学部を運営するために学部委員会を置く。

3 第1項・2項に定める役職者の任期は2年とし、再任を妨げないが、学部長については連続して最長3期6年を上限とする。ただし、学部長が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 学部長は学部教授会で選出し、その結果を学長に進達し、学長が任命する。

5 学部長補佐、学科長、専攻長及び専修長は、学部教授会の構成員の中から学部教授会の議を経て学部長が推薦し、学長が任命する。

(招集・議長)

第4条 学部教授会は、学部長がこれを招集し議長となる。

2 議長に事故あるときは、学部長補佐または学部委員のうちあらかじめ指名されたものがこれを代行する。

3 学部教授会の5分の1以上の者の請求があれば、議長はすみやかに学部教授会を招集しなければならない。

(定足数)

第5条 学部教授会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、定足数の5分の1以内は委任状をもってかえることができる。

(審議)

第6条 審議は、学部長の選出及び特別審議を要する事項のほかは、出席者の過半数の賛成をもって、その結果を学長に進達し、学長が決定する。

(議事)

第7条 学部教授会は、次の事項の審議結果を学長に進達し、学長が決定する。ただし、全学部の審議を要する事項はこれを除く。

- (1) 学生の進級、留年又は卒業に関する事項
- (2) 学生の学籍に関する事項
- (3) 入学試験に関する事項
- (4) 学部学生の指導に関する事項
- (5) 教員人事（学部長の選出、昇格審査、専任教員の任免、非常勤講師の委嘱・派遣等）に関する事項
- (6) 大学評議員の選出
- (7) 学部の将来計画に関する事項
- (8) 学部の諸規程の制定・改廃に関する事項
- (9) 学部教育計画に関する事項
- (10) 学部の研究に関する事項
- (11) 学部の教育・研究の点検・評価に関する事項
- (12) 学部のFDに関する事項
- (13) 大学評議会が審議し、学長が必要と認める事項
- (14) その他、学部長及び学部教授会が必要と認める事項

(特別審議)

第8条 学部教授会の議事のうち、大学院特任教授の採用人事を除く専任教員の任免に関する事項及び昇格審査に関する事項は、第6条の定める特別審議事項とする。

2 特別審議事項は出席者の無記名投票による3分の2以上の賛成をもって、その結果を学長に進達し、学長が決定する。

(学部委員会)

第9条 学部長のもとに学部委員会をおく。

2 学部委員会の運営については別に定める。

(特別委員会)

第10条 学部教授会は、その必要に応じて特別委員会等を設置することができる。

(議事録)

第11条 学部教授会の議事録は美浜事務室、半田事務室、東海事務室及び通信教育部事務室が作成し、学部長がこれを管理する。

(規程の所管課室)

第12条 本規程の所管課室は、教育開発課とする。

(規程の改廃)

第13条 本規程の改廃は、大学評議会が審議し、学長が決定する。

附 則

- 1 この規則は、昭和44年4月1日より制定施行する。
- 2 この規則は、昭和51年1月1日より一部改正施行する。
- 3 この規則は、昭和60年2月14日より一部改正施行する。
- 4 この規則は、昭和61年4月1日より改正施行する。ただし、本規則の改正前に選出された役職者、専門委員は、改正前の任期を継続するものとする。
- 5 この規則は、1991年4月1日より一部改正施行する。
- 6 この規則は、1993年4月1日より一部改正施行する。
- 7 この規則は、1995年4月1日より一部改正施行する。
- 8 この規則は、1997年4月1日より一部改正施行する。
- 9 この規則は、2007年4月1日より一部改正施行する。
- 10 この規則は、2013年4月1日より一部改正施行する。

(申し合わせ事項)

なお、2013年度に就任する学部長の選出については、新規則の第3条第3項により実施する。

- 11 本規程は、2015年4月1日から改正施行する。
- 12 本規程は、2015年8月1日から改正施行する。